重要文化財　旧日向家熱海別邸

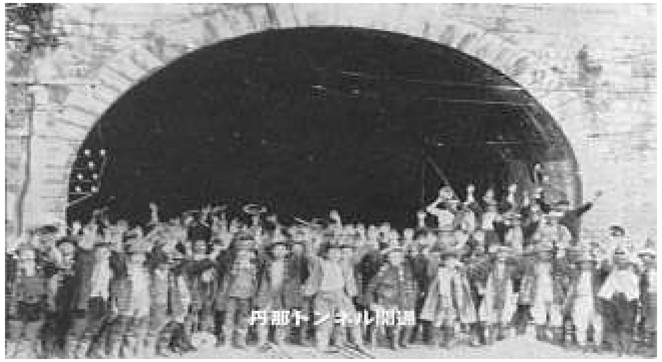
現代熱海を生み育てた”東山文化”が残した文化遺産

タウト塾@熱海

熱海ブルーノ･タウト連盟

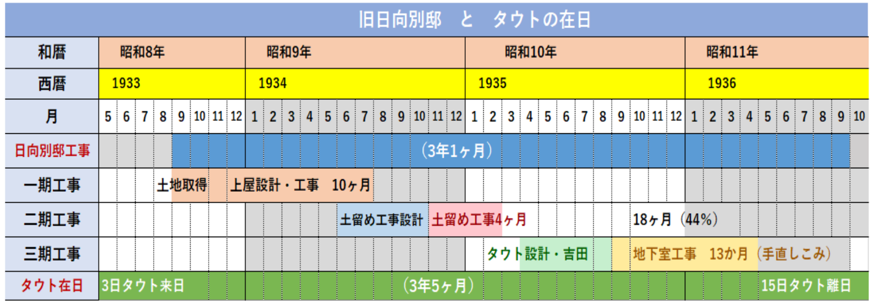
3部構成

昭和初期
現代熱海を生んだ東山



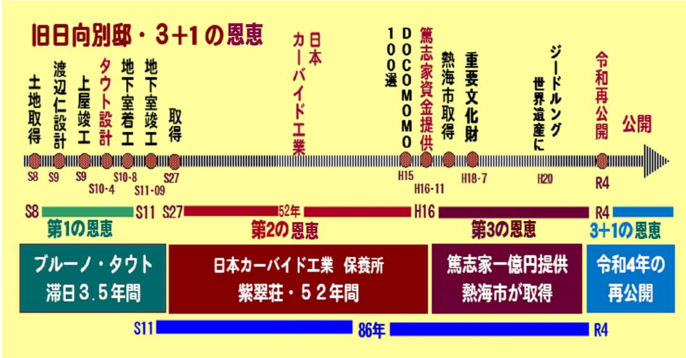
熱海･交通

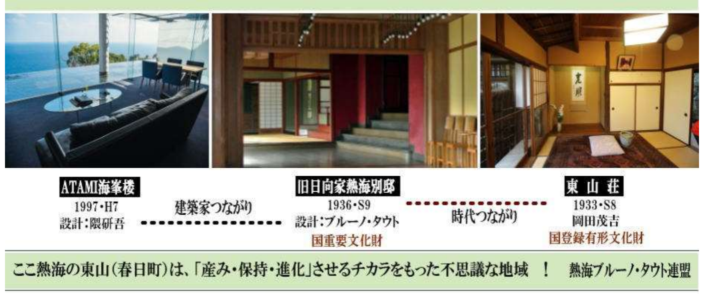
旧日向別邸
東山を生み育てた文化遺産



摩訶不思議なる世界

3+1の恩恵
東山 この永遠なるもの





地霊･蘇生

昭和初期
現代熱海を生んだ東山

大正14年熱海駅開業

竹内合同会社土地分譲

昭和9年丹那トンネル開通

熱海の近代･現代史 村から市へ

- 1889年（明治22年） 熱海村、伊豆山村、泉村、初島が合併して
  賀茂郡熱海村 発足
- 1891年（明治24年）熱海村が町制施行して**熱海町**となる
- 1937年（昭和12年）4月10日 - 熱海町と多賀村が合併し**熱海市**が発足
- 1957年（昭和32年） 4月1日 - 網代町を編入合併 **現･熱海市。**

熱海村 伊豆山村
泉村 初島 1889（M22）

熱海村・熱海町

48年後

多賀村 1937（S12）

熱海市

20年後

網代町 1957（S32）

現在の熱海市

64年

熱海の発展

江戸の湯治場、明治より人気の保養地熱海は、大正天皇の御用邸（明治21年）に伴い、政財界、文人墨客があつまった。

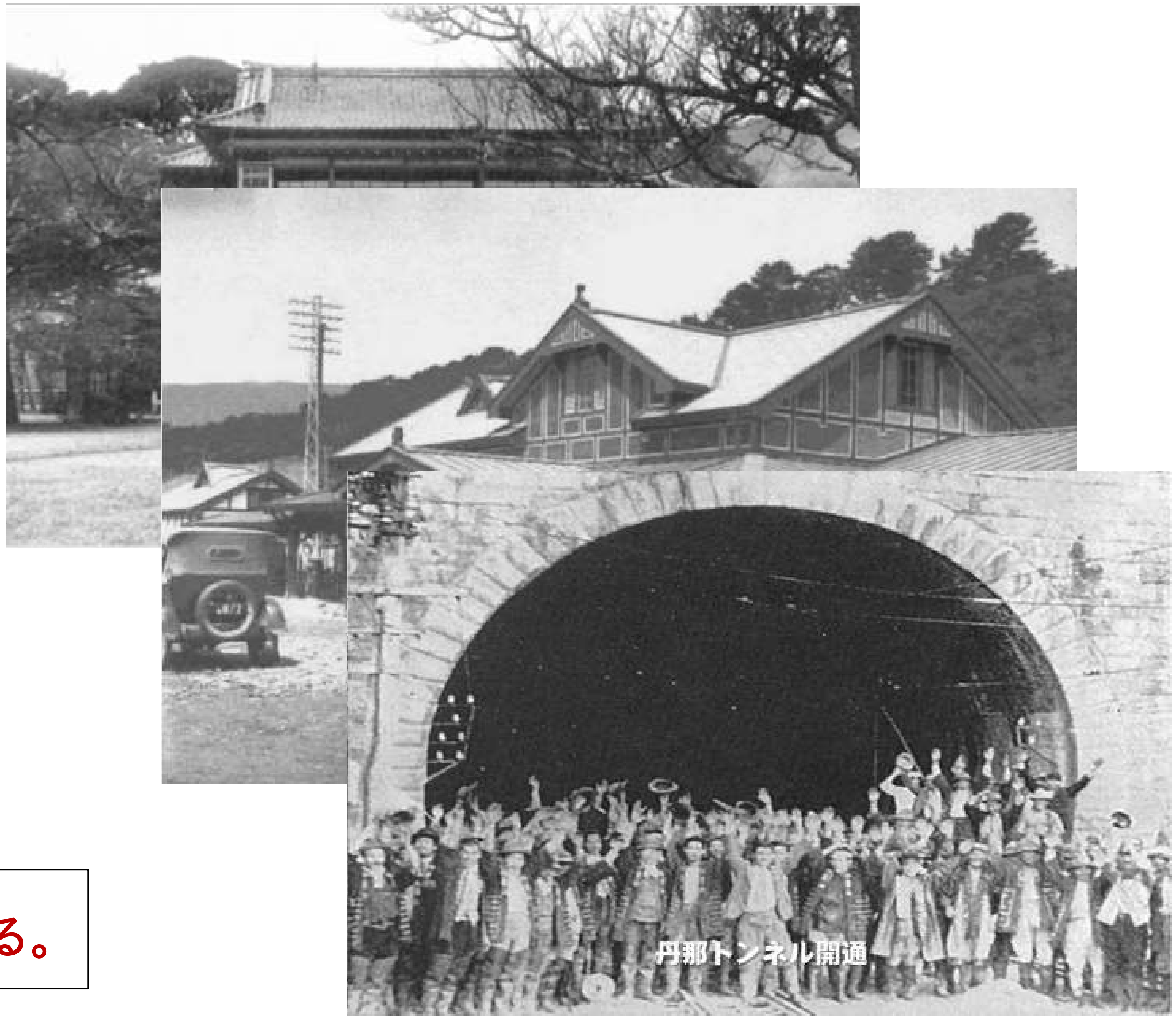
第一次世界大戦、15年戦争、第二次世界大戦、関東大震災、熱海大火のなか、熱海は大きな飛躍を遂げ発展してきた。

「東山」は、

熱海駅開業、丹那トンネル

の開通によるところから、現代熱海づくりの先駆けの役割を果たす。

熱海の発展は交通の発展に伴っている。



熱海市誕生

泉都熱海けふぞ市位を名乗る
海の秘境多賀を加へて堂々三萬の桃源郷出現
東京朝日新聞
號外
泉都熱海の誕生
号外
昭和12年4月10日

熱海駅開業時に始まる駅周辺区の発展

温泉地区　銀座通り周辺の温泉地区
駅周辺区　熱海駅を中心とした地区

温泉地区の発展

江戸時代

（湯治場）　（家康）

明治・大正

（保養地）　（政財界）

噏濱館と熱海梅園/熱海御用邸

昭和観光地

（新婚・社員旅行）

熱海の交通発展史

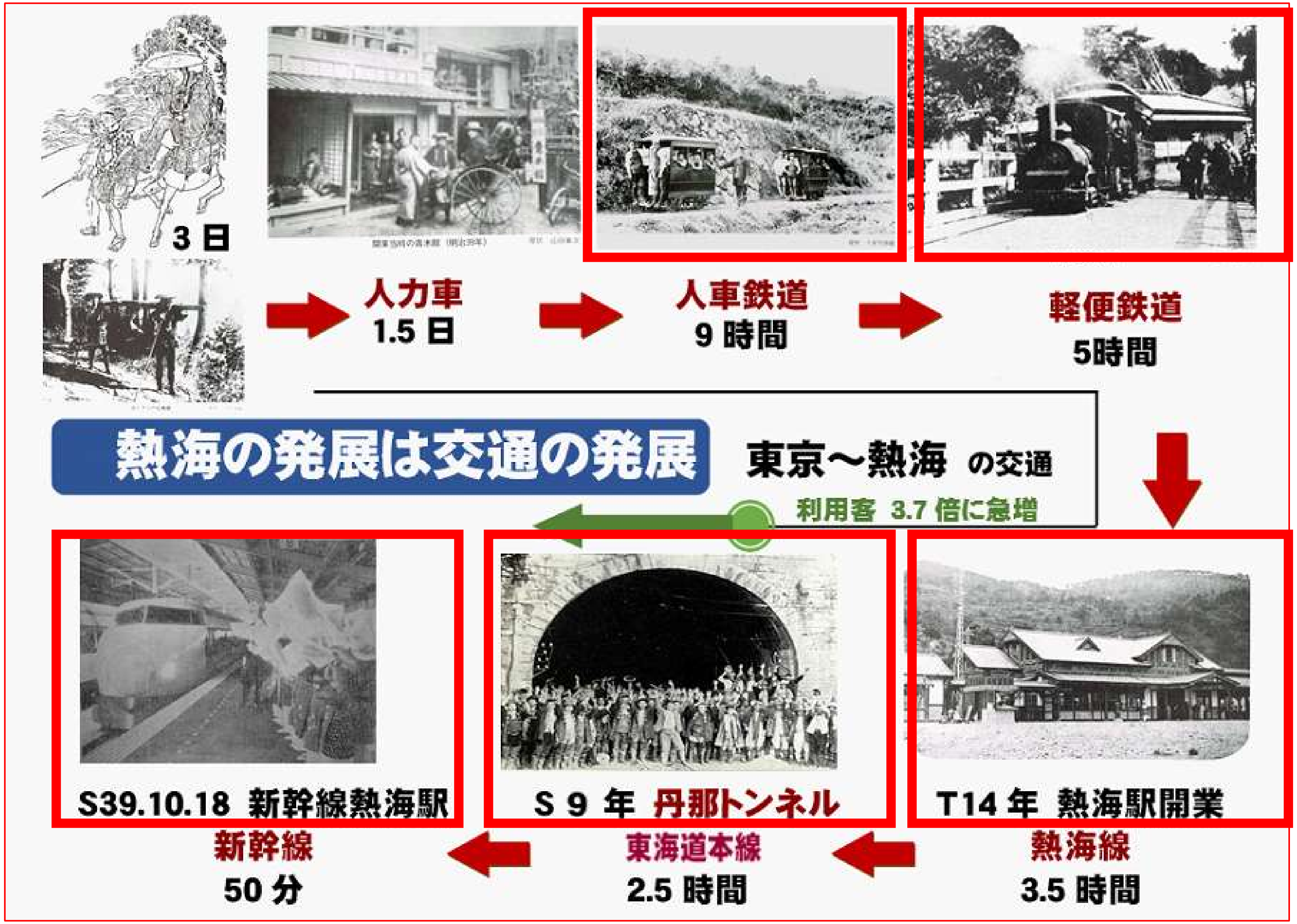
熱海は江戸時代より、全国の温泉地でも別格「行事」として人気の温泉地でした。

また明治には、政治家を文学者など多くの著名人の人気の場所となり発展を遂げてきたのですが、「交通の不便さ」が常に付きまとってきました。

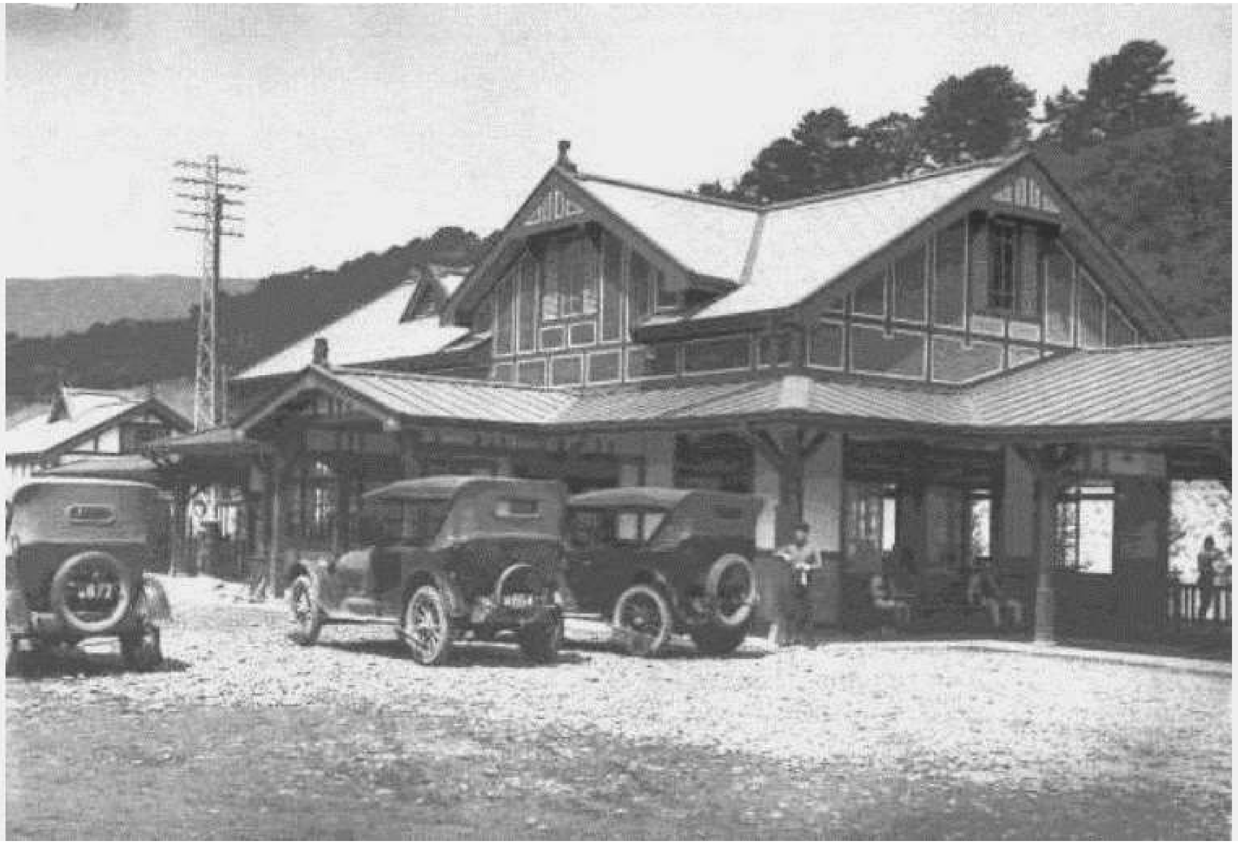
熱海の発展の歴史は、交通との闘いといっても過言ではありません。その為、人車鉄道、軽便鉄道など多くの手段をとってきました。

そうした中でも、大正から昭和初期にかけての「熱海駅開業」と丹那トンネルの開通は特別でした。

この講座では、熱海の交通を軸に街の発展、東山文化を見て参ります。

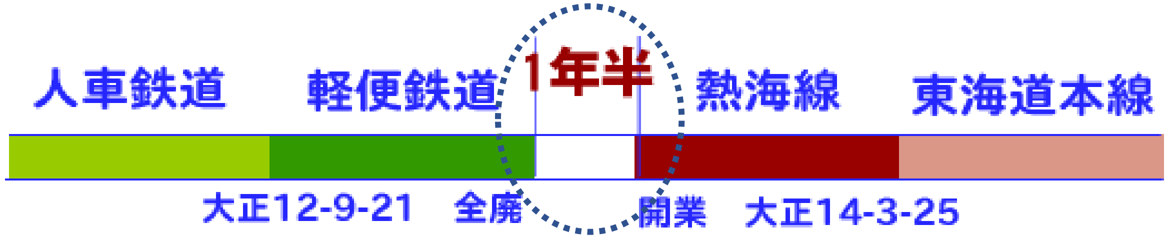


熱海駅開業　1925年(大正14年)3月

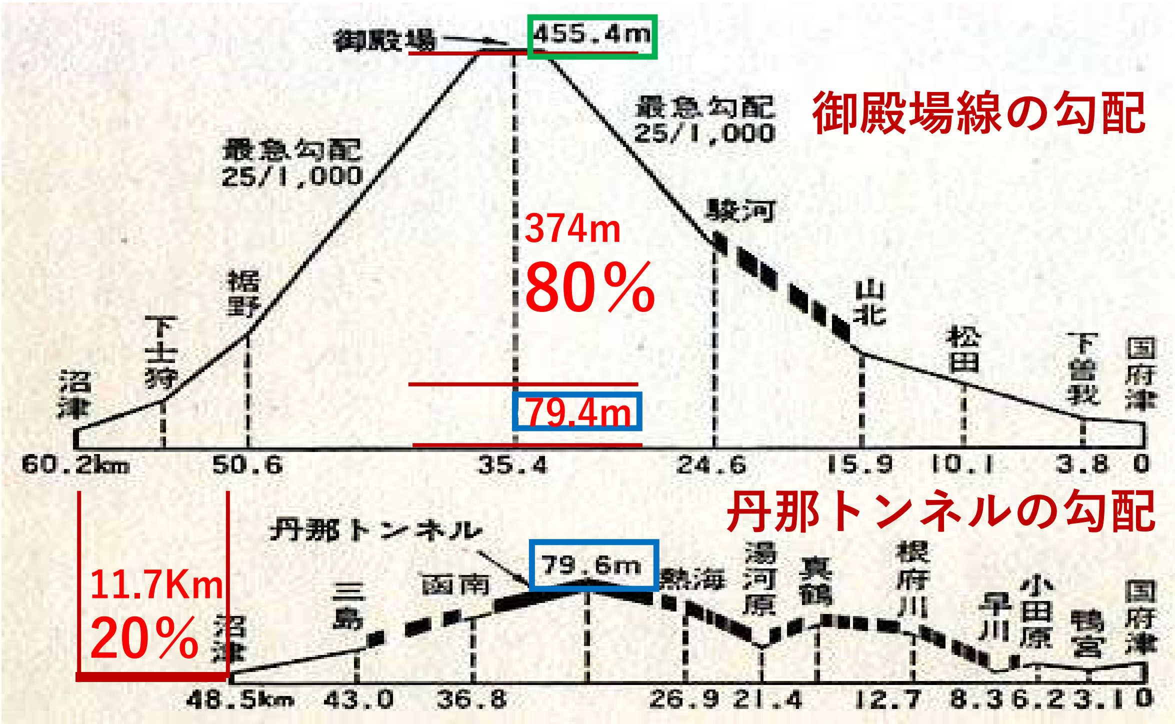


- 東海道本線は、国府津から御殿場線で沼津につながっていた
- 小田原・熱海では、豆相人車鉄道→軽便鉄道により終点熱海つながっていた。
- 大正12年9月の関東大震災により壊滅、全廃。
- 大正14年3月　国府津から熱海をつなぐ熱海線開通

熱海駅開業は、軽便鉄道の全廃からまでの1年半後に完成。開業は多くの人々に喜ばれた。



丹那トンネル決定･工事



- 御殿場線を東海道本線としていたが、勾配がきつく輸送に大きな障害をもっていた。
- 熱海線は勾配は80%減となり距離も20%強減となった
- そうしたことから、熱海から函南間を開通して通す案が採用された
- 大正7年着工し昭和9年完工した
- 初工期は7年であったが、多量の湧水から16年となった
- 大事故は4回、日本の鉄道トンネル工事史上、最大の難工事であった。

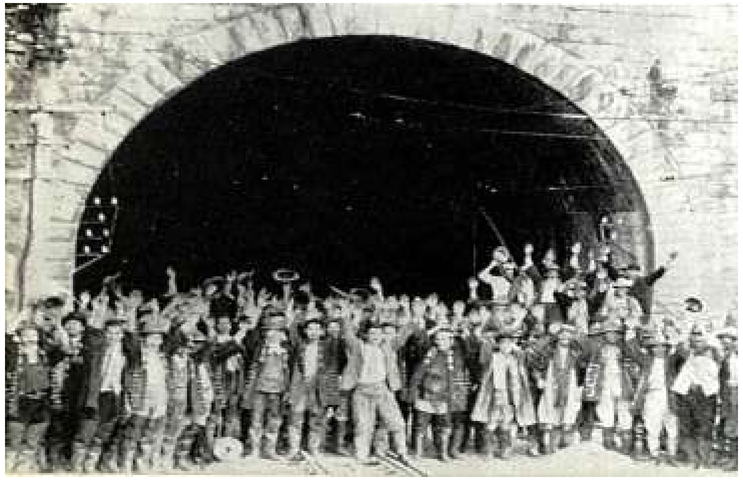
難工事

工期：7年　→　16年
予算：700→2500万円
　　3.6倍－当時予算－
犠牲者：67名
　　－水、落盤犠牲者－
延べ人数：250万人
長さ：7804m

南側水抜坑付近の湧出水

丹那トンネル熱海口坑門から九千百五十フイート地点におけるセメント注入前の湧水状態

丹那トンネル開通 殉職碑 昭和9年12月



丹那トンネル殉職碑　67名

吉村昭著『闇を裂く道』

丹那トンネルの2つの恩恵

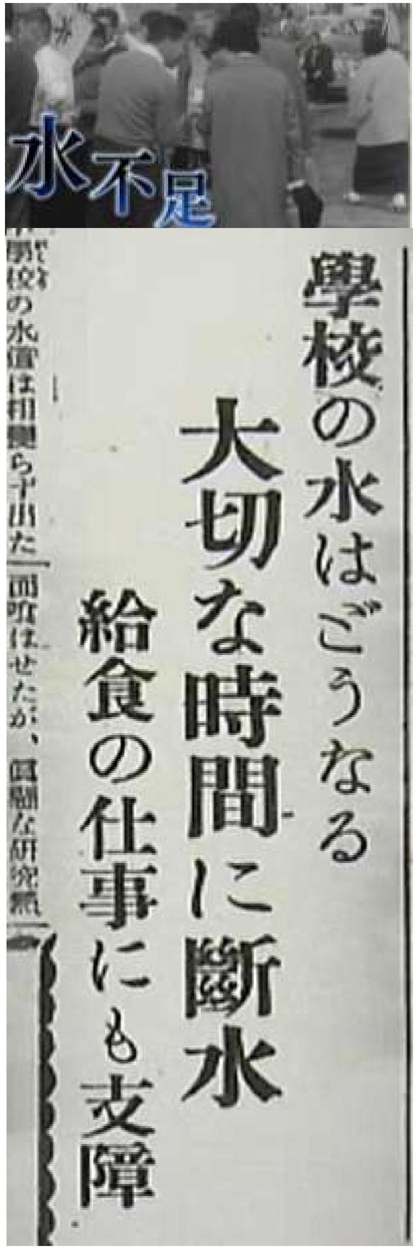
難工事をまねいた大量の丹那湧水

第一恩恵
多くの
観光客

急激な
水不足

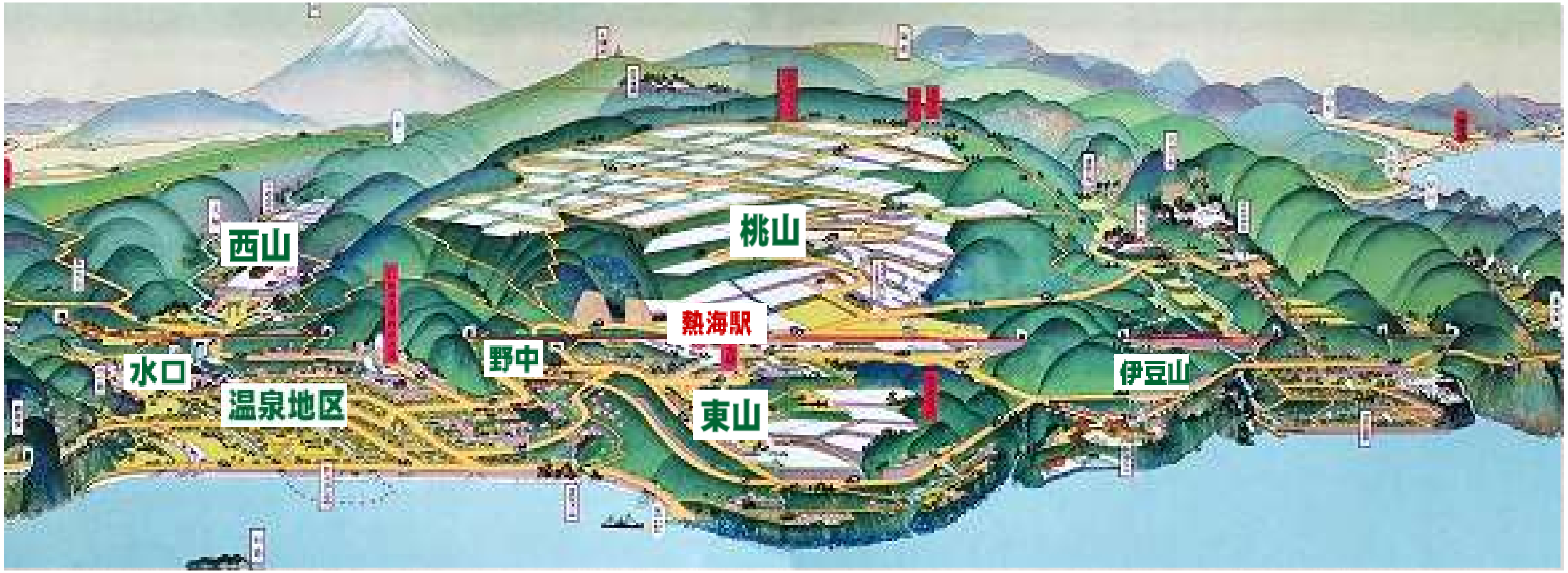
第二恩恵
大量な
生活水

線名	乗客数	降客数	和暦
軽便鉄道 小田原～熱海	1.7万人	1.9万人	大正12年調べ
熱海線 東京～熱海	28.7万人	37.1万人	大正14年調べ
東海道本線 丹那トンネル開通	191万人	162万人	昭和10年調べ



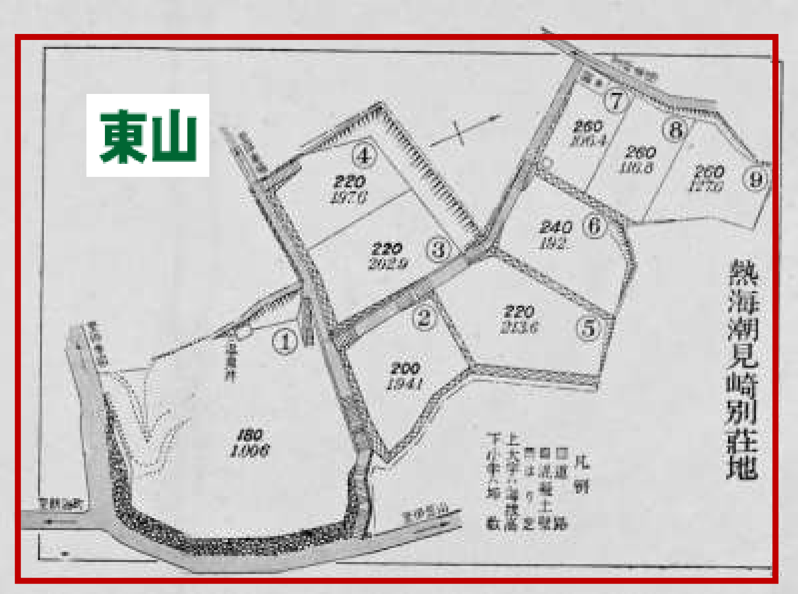
東山·桃山の土地分譲(温泉付き)開発

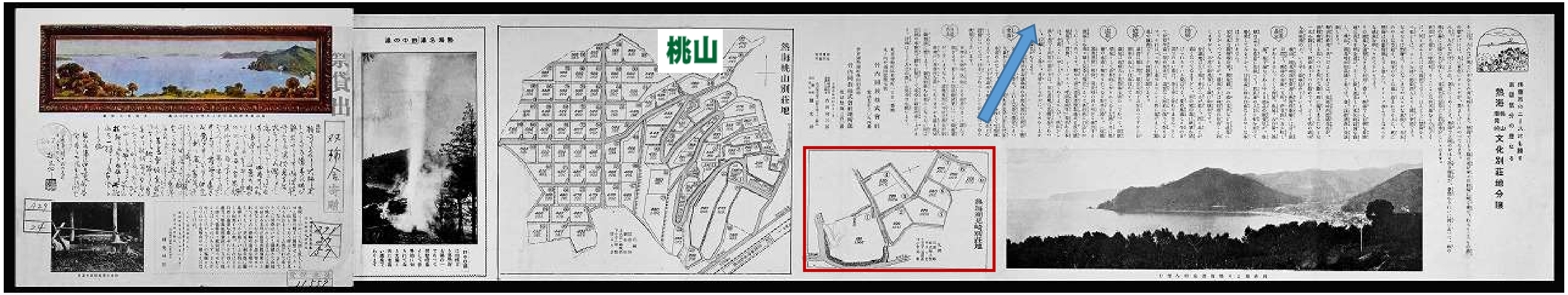
- 東山の地は以上のような交通の大きな転換期を背景に生まれてきました。
- 大正10年　東京に本拠をおく竹内同族会社が桃山・東山（潮見崎）の土地分譲を開始
  これは開通7年後を予定していた丹那トンネル工事着工の3年後
- 開発と同時並行して、来宮神社の位置する西山、温泉地区の間の野中地区（現咲見町）、水口付近、伊豆山地区なども開発が盛んになる

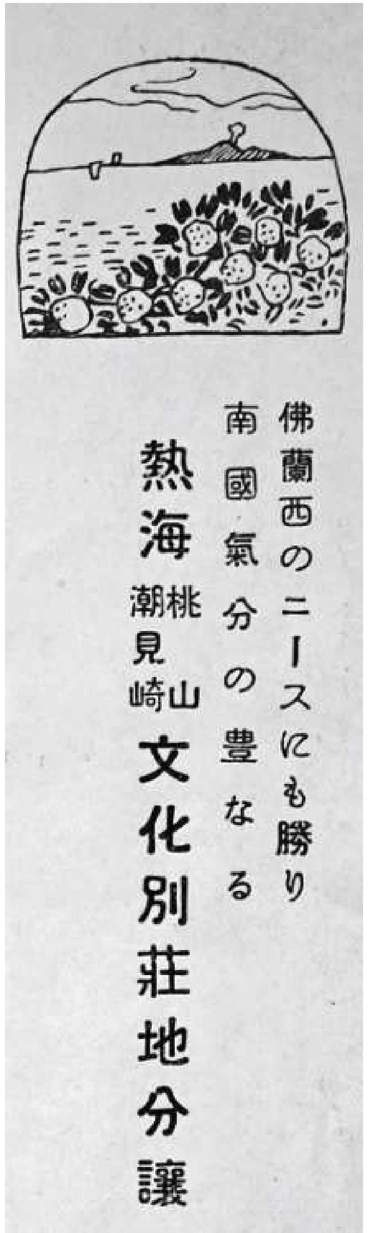


熱海 桃山潮見崎 文化別荘地分譲 案内

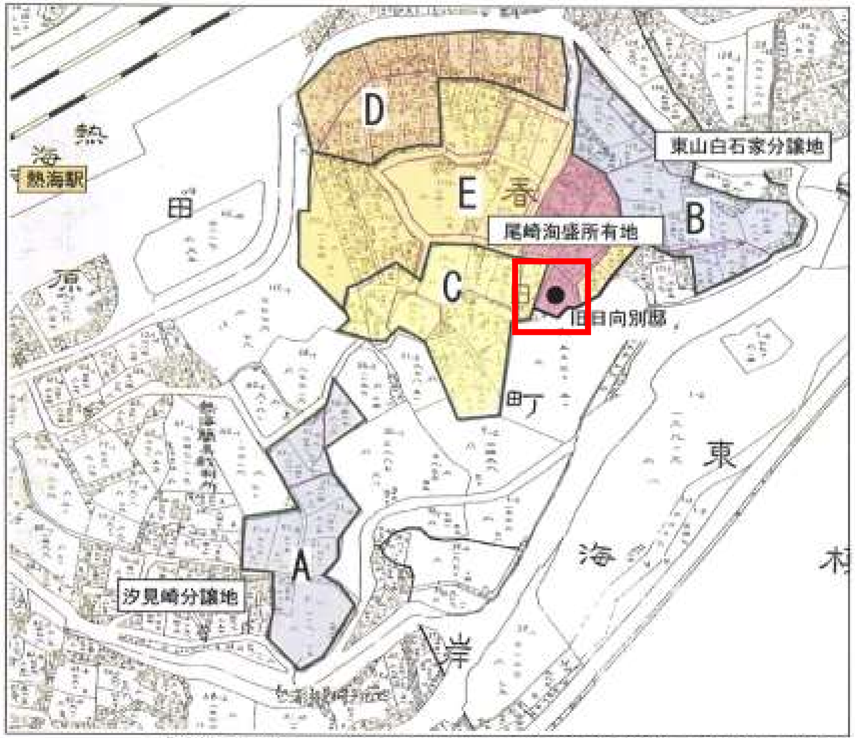
竹内同族会社による（大正14年）
「熱海潮見崎・桃山文化別荘地分譲」パンフレット。
　両面刷りで、坪内逍遥・双柿舎からの図書館への寄贈品。奇麗なかたちで残っている。
　NHK　「ブラタモリ」にも説明用で登場





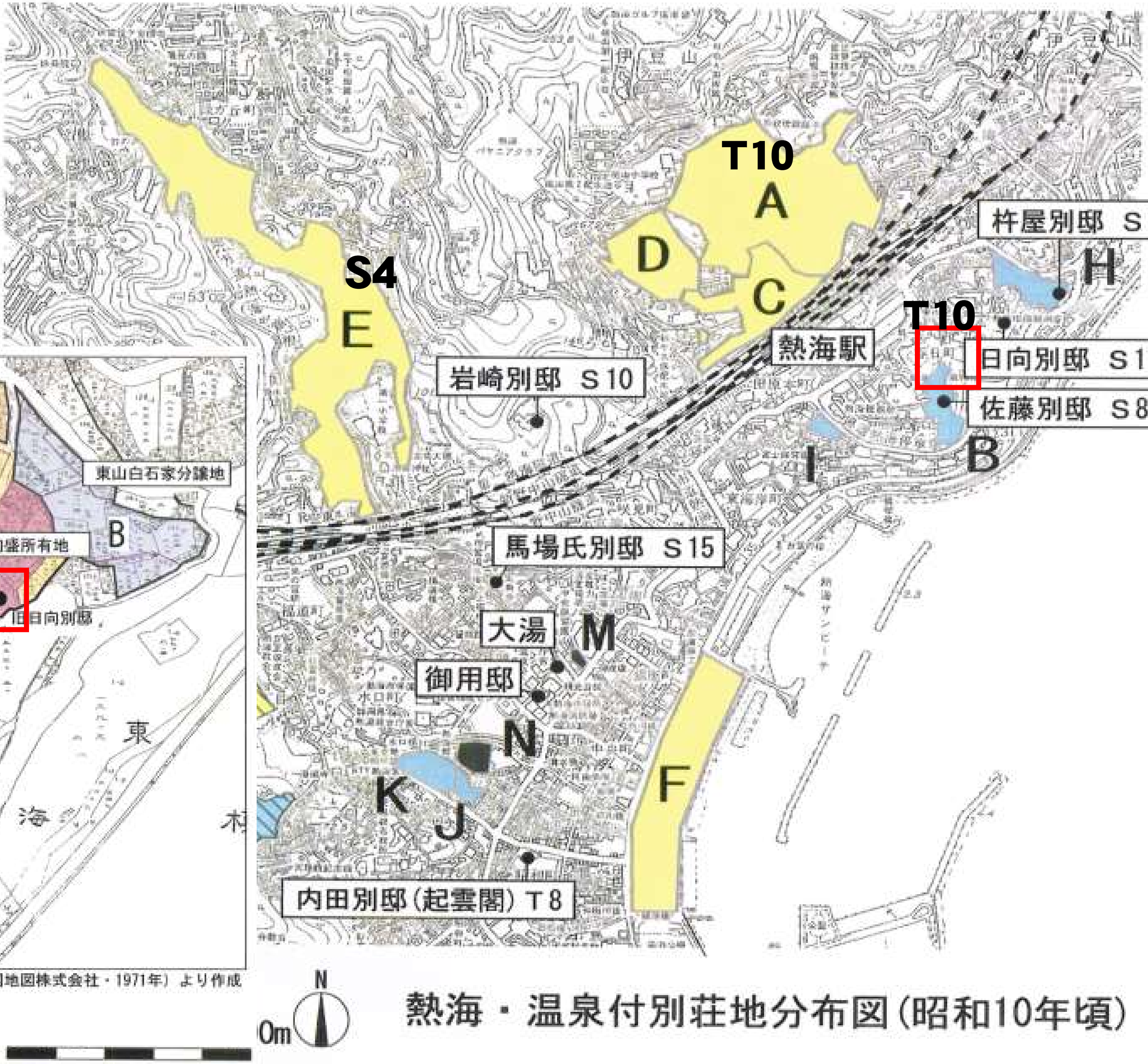


当時の別荘開発の状況



＊「熱海市土地宝典」（熱海市立図書館所蔵・帝国地図株式会社・1971年）より作成

東山の別荘地開発



熱海・温泉付別荘地分布図（昭和10年頃）

広大な土地を開発した大規模分譲地

- A 桃山分譲地（大正10年から分譲）
- C 和光園分譲地（昭和６年頃から分譲）
- D 晴光荘分譲地
- E 西山分譲地（昭和４年から分譲）
- F 埋立地
- G 三本松分譲地

個人所有者が開発した小規模分譲地

- B 汐見崎分譲地（大正10年から分譲）
- H 東山白石家分譲地
- I 堀田家分譲地
- J 小菱田分譲地
- K 山科家分譲地
- L 扇平分譲地

大正期から中心地にある別荘地を分割した分譲地

- M 熱海町温泉附買別荘地
- N 熱海町字小菱田買別荘地

別荘地として成立しなかった分譲地

現在の東山全景　東山トリオ(旧日向別邸・東山荘・海峯楼)

現在の東山全景

- 標高約90ｍ
- 駅約20ｍ高い場所。
- 135号線、駅前道路に囲まれた丘

- 頂きに3つの施設が隣接し合い
「東山トリオ」を構成

- 他旧杵屋別邸
キリューションホテルなど存在し、昭和の浪漫をかもしています

（高層マンションはかつての学校跡地につくられたもの）

東山トリオ(旧日向別邸・東山荘・海峯楼)

- 標高約90m
- 駅約20m高い場所
- 頂きの3つの施設
  「東山トリオ」
  ＊旧日向別（S9）
  ＊東山荘（S8）
  ＊ATAMI海峯楼（H7）

とうざんそう

東山荘

東山荘 配置図

— 全７棟 国の登録有形文化財 —

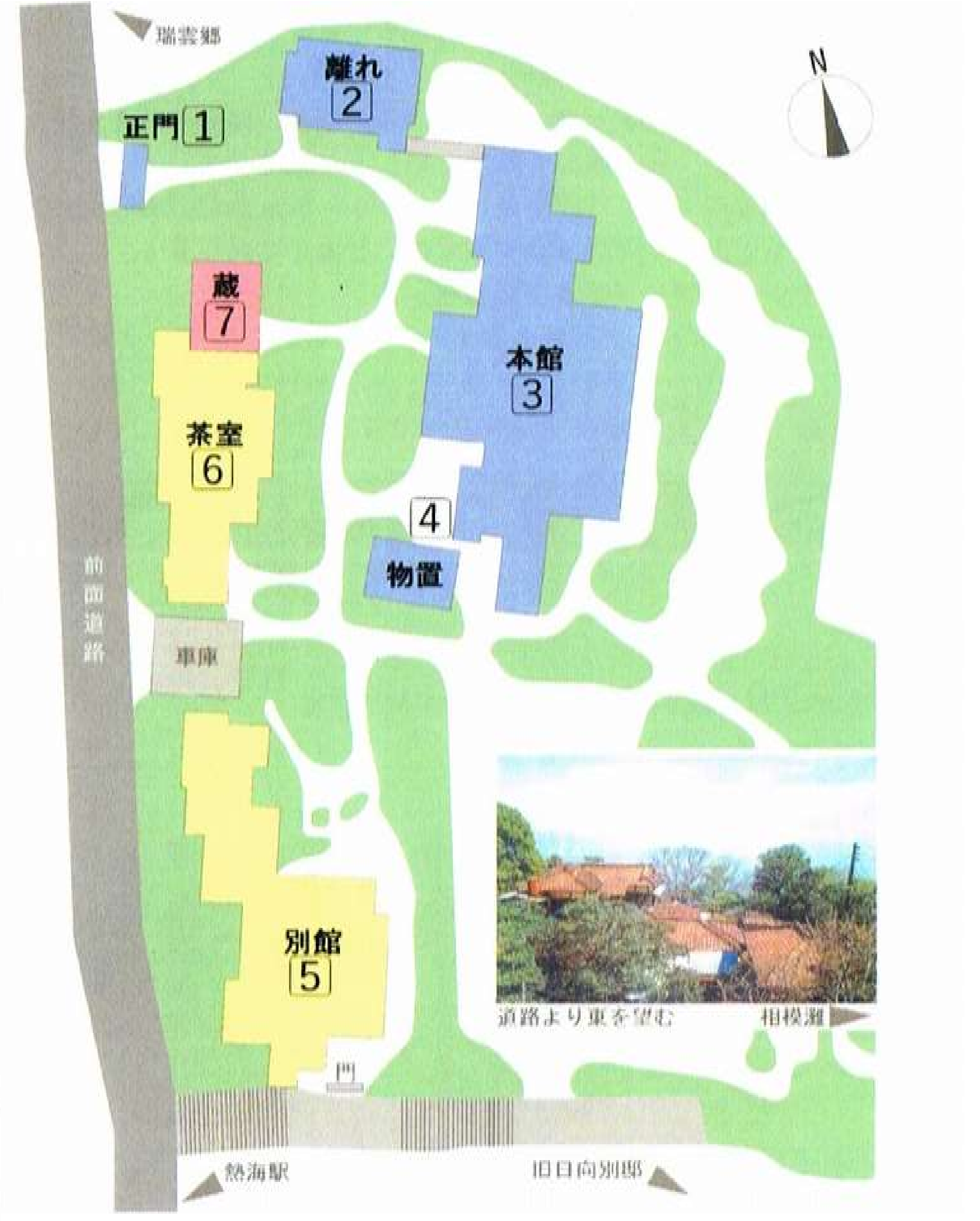
平成28年（2016年）

東山荘は、**昭和8年**、第一銀行頭取であった**石井健吾**氏の別邸として建築されました。その後、所有者が山下汽船（現・商船三井）の創業者**山下亀三郎**氏に移り、昭和19年に世界救世教・**岡田茂吉**氏が譲り受け熱海市・旧東山（現春日町）の地名を取って「東山荘」と命名されました。
平成28年（2016年）に、昭和初期から今日までの歴史を孕んだ**近代和風の別荘建築**として貴重であると評価され、国の**登録有形文化財**（建造物）に指定されました。

石井健吾氏
第一銀行頭取

山下亀三郎氏
商船三井創業者

岡田茂吉氏
世界救世教教祖



第一期	昭和8年	第一銀行３代頭取・石井健吾	1 正門 2 離れ 3 本館 4 物置
第二期	昭和14年	山下汽船初代社長・山下亀三郎	5 別館 6 茶室
第三期	昭和19年	世界救世教教祖・岡田茂吉	7 蔵

とうざんそう

東山荘

相模湾を望む敷地北東寄りに石井健吾の本館が位置している。

昭和8年東山荘の完成のころ、日向利兵衛は、隣接する土地を尾崎男爵より譲り受け、渡辺仁に設計を依頼している。

戦前期における熱海の別荘開発と代表的な別荘建築が集中する貴重な歴史的地区の開発の始まりの時代でした。

設計施工・清水組　敷地面積　1000坪

とうざんそう
東山荘　瑞雲郷

本館東から山側を望んだ写真です。

岡田茂吉氏は毎日この雄姿を眺めては、瑞雲郷の構想を練ったといいます。

現在MOA美術館、救世会館、水晶殿他、多くの関連施設が建っています。

杵屋六左衛門旧邸　竣工：昭和8年（1925）　吉田五十八設計

明治33(1900)～昭和56(1981)

東京都中央区生まれ。
明治～昭和期の長唄三味線方・唄方 杵屋宗家
14代目 東京音楽学校教授。
49年人間国宝。
杵屋は三味線家系であったが長唄に転向。
出典：日外アソシエーツ「20世紀日本人名事」

旧日向別邸
東山を生み育てた文化遺産

旧日向別邸　と　タウトの在日

和暦	昭和8年							
西暦	1933							
月	5	6	7	8	9	10	11	12
日向別邸工事								
一期工事				土地取得				上屋設計・工事　10ヶ月
二期工事								
三期工事								
タウト在日	3日タウト来日							

和暦	昭和9年											
西暦	1934											
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日向別邸工事										（3年1ヶ月）		
一期工事												
二期工事						土留め工事設計					土留め工事4ヶ月	
三期工事												
タウト在日									（3年5ヶ月）			

和暦	昭和10年											
西暦	1935											
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日向別邸工事												
一期工事												
二期工事										18ヶ月（44%）		
三期工事		タウト設計・吉田								地下室工事　13か月		
タウト在日												

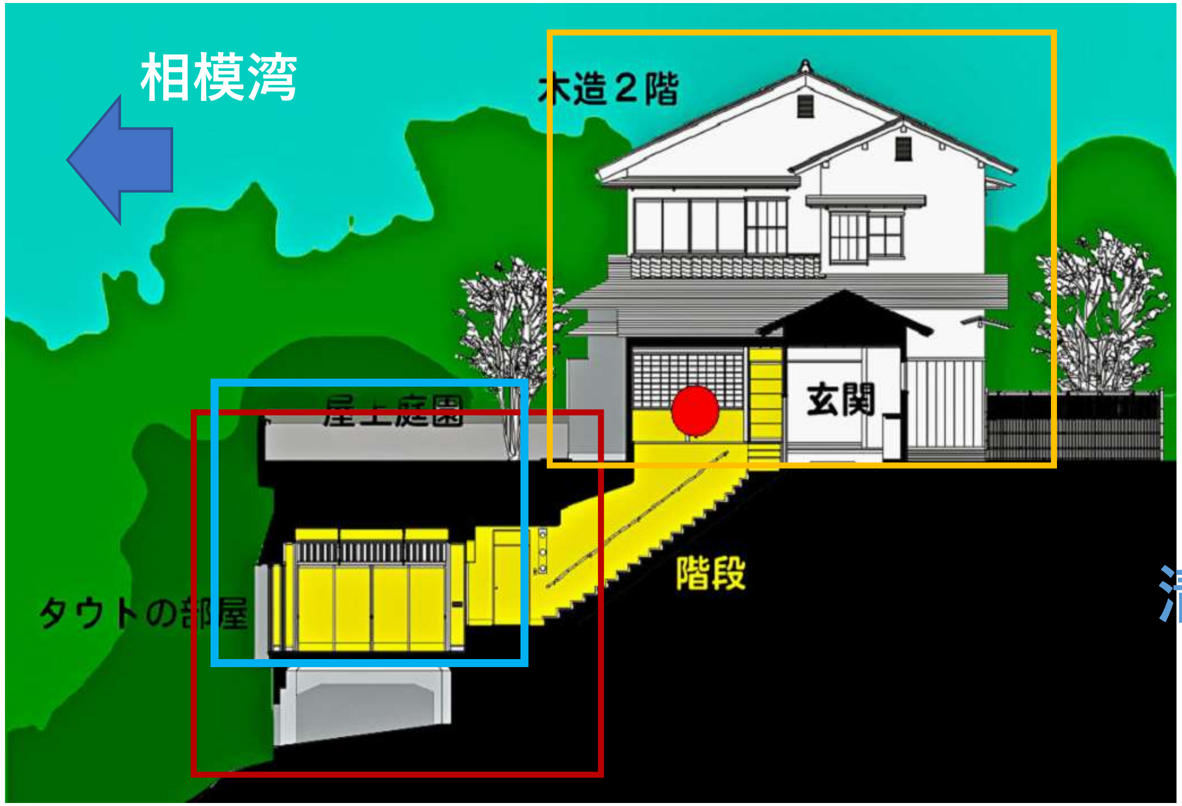
和暦	昭和11年									
西暦	1936									
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日向別邸工事										
一期工事										
二期工事										
三期工事					（手直しこみ）					
タウト在日					15日タウト離日					

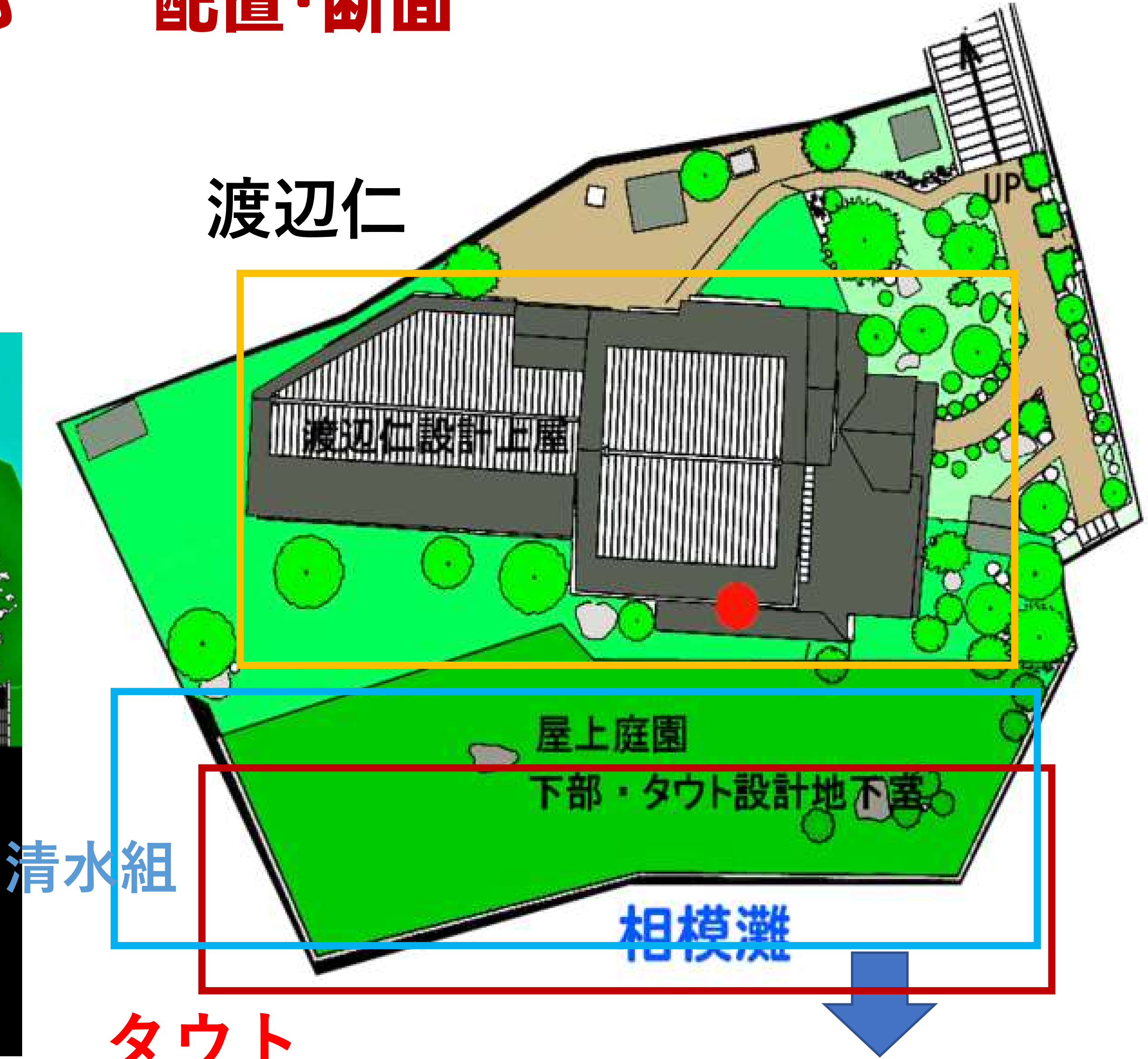
日向利兵衛　旧日向別邸の施主

- 1874～1939（明治　7　年～昭和　14　年）　アジア貿易商人
  1874（明治 7 年）大阪の実業家**「唐木屋」**の一人息子で誕生。
- 15 歳で香港に渡り、現地の日本人商会に勤め帰国。
- 第三高等学校、東京商業学校(現一橋大学)を卒業し同年「唐木屋」を相続する。**美術、建築に造詣**が深く、**語学力**と幅広い**人脈**を生かし貿易関係で活躍をする。
- 「唐木屋」は、紫檀、黒檀、鉄刀木（タガヤサン）などの銘木を輸入し、家具を製造販売。高級家具、茶室や数奇屋造りの飾り棚や置家具など、工芸製の高い製品を扱った。
  - また、当時重要な輸出品だったマッチの原料である**リンを輸入**し、アジア貿易に足がかりをつけ、貿易商人として大をなした。
  - 日向の特徴は、技術の指南や相談役などフィクサー的役割を果たすと共に、東洋 精糖、日新火災といったアジアがらみの企業の経営者として関わった。
  - 旧日向別邸完成三年後、昭和 14 年 9 月、65 歳で逝去した。

三期の工事で完成した旧日向別邸　配置・断面

一期　上屋・渡辺仁設計
二期　土留め躯体.屋上庭園・清水組
三期　地下室内装・ブルーノ・タウト設計





渡辺仁（わたなべじん）：上屋設計

渡辺仁（わたなべじん）1887-1973

近代日本の建築家。作品のスタイルは当時の建築家としては珍しく、歴史主義様式のほか、表現派、帝冠様式、機能 / 合理主義様式、初期モダニズムと多岐にわたっている。

主要作品には**服部時計店**、**ホテルニューグランド**、**東京国立博物館**、**第一生命相互館**などがある。1887年　東京で生まれる。東京帝国大学建築学科を卒業。鉄道院、逓信省に勤務。

1920年　独立し、渡辺仁建築工務所開設。130棟ほどの住宅を設計しているが現存は3棟のみ。

旧日向別邸は数少ないその一つの現存住宅として重要である。

銀座和光

出展：セイコーハートビートマガジン銀座和光」改修秘話、90年前の思いを引き継ぐ名建築より

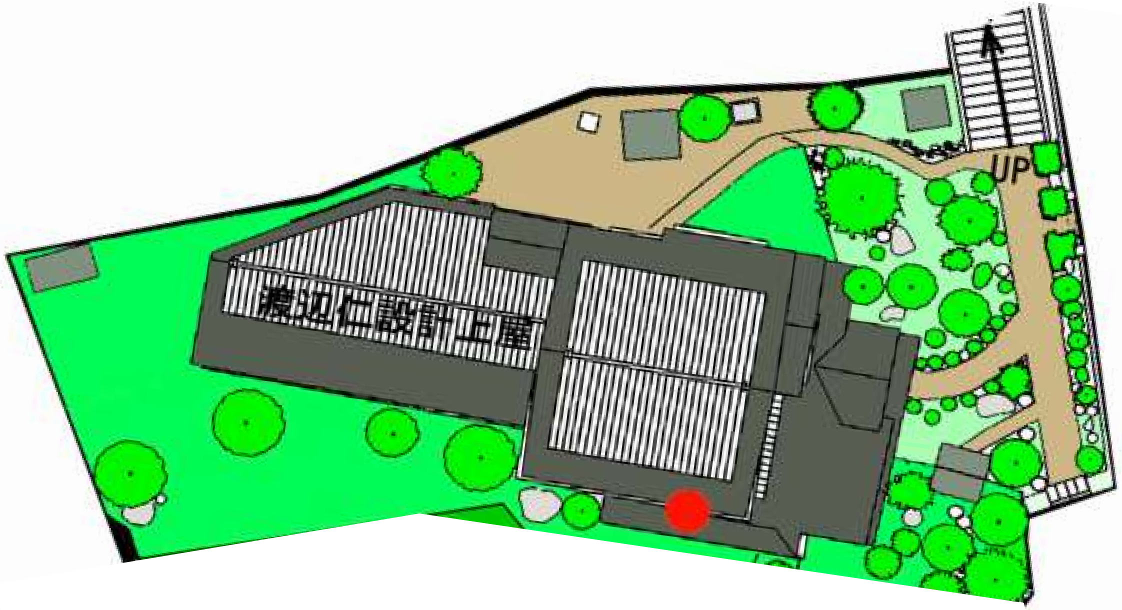
渡辺仁·上屋の概要·評価すべき要素

- **昭和8年10月から昭和9年7月**　設計と工事が行われる。
- **上屋、門扉、玄関庭園・裏庭、温泉設備**が設けられる
- 昭和9年6月から土留めの準備が行われ、土地の増設と地下への階段などへの対応、準備される
- 構造　木造二階建て　一階：広い居間を設け、床は板張り、壁は砂壁、桐格天井・組込み照明
  二階：三室の畳の間、南西の隅窓部にはベランダが設けられる
- 仕上げ　屋根：三州織部瓦葺・腰銅板葺、外壁はモルタル塗りリシン仕上げ
- **温泉設備　温泉活用の床暖房**（配管はかなり特殊で不明要素が多い）
  東山地区の温泉分譲地の遺構を残す住宅として貴重な遺構である。
- **ブルーノ・タウト滞在の記念碑的価値**（**昭和10年4月16日　タウト宿泊**）

旧日向別邸　と　タウトの在日

和暦	昭和8年								昭和9年												昭和10年												昭和11年									
西暦	1933								1934												1935												1936									
月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日向別邸工事																		（3年1ヶ月）																								
一期工事				土地取得				上屋設計・工事　10ヶ月																																		
二期工事														土留め工事設計					土留め工事4ヶ月											18ヶ月（44%）												
三期工事																						タウト設計・吉田								地下室工事　13か月（手直しこみ）												
タウト在日	3日タウト来日																（3年5ヶ月）																				15日タウト離日					

一期工事　上屋の建設

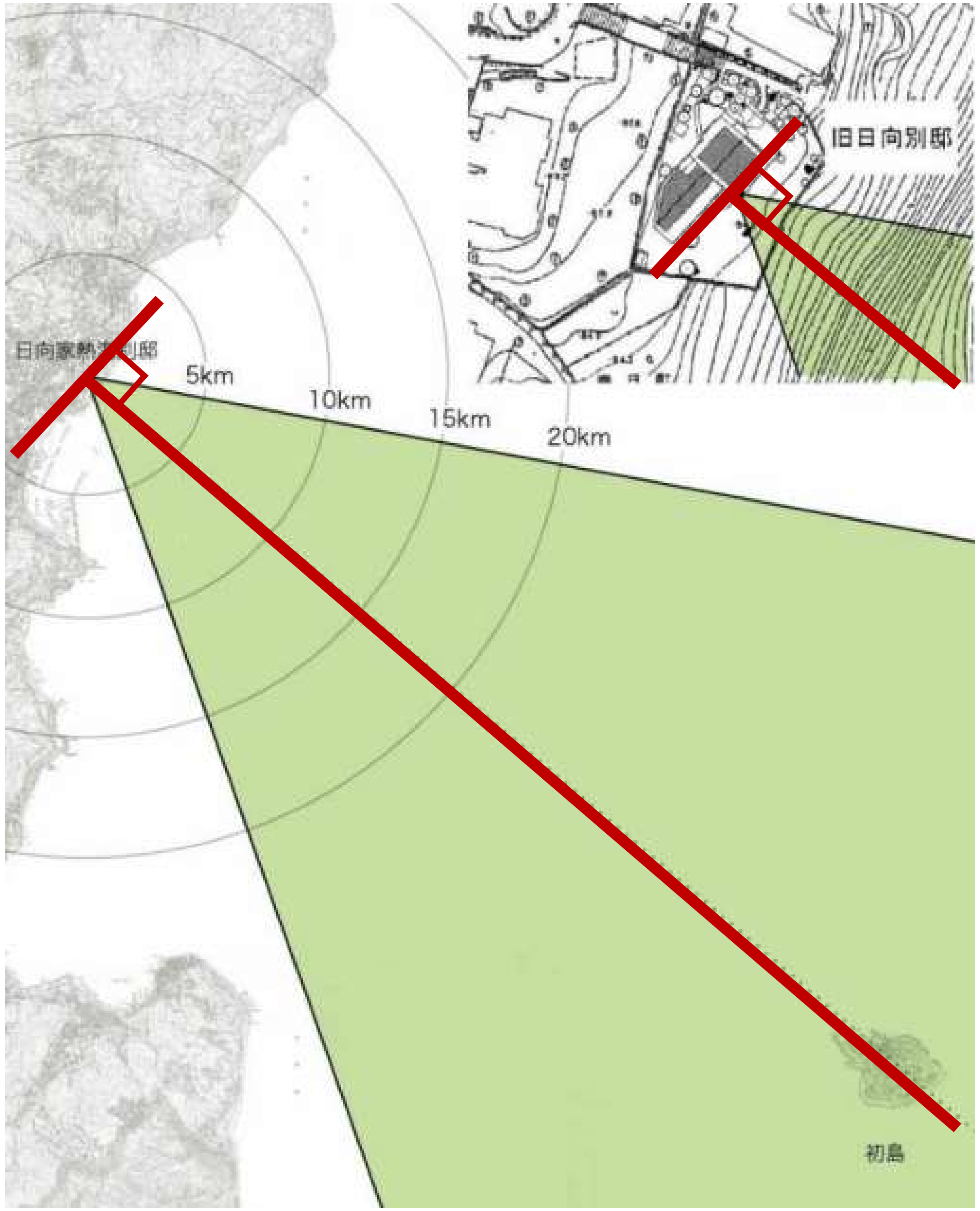


配置　初島を正面に見る

- 上屋建物は本来の敷地形拡に沿いながらもやや南へ傾けて配置されている
- これは採光面を考慮したと同時に、正面に初島を望む景観を意識して客間の向く方向を初島の方へ振った可能性がある

初島周辺には**当時イカ釣り漁船**がでていた
タウトの日記にも、日向氏が自宅でタウト夫妻の送別会を催した時に「明るい月影が両面にきらきら充っている。海上には樹脂の漁火をもやした（魚を誘うためである）夥しい漁船（中略）『ここは詩人にとってはまことに最適な場所です』

＊建物は初島が建物全体が正面に来るように正確に配置されている。
図は平成20年3月「旧日向別邸保存活用計画」によるものです。



旧日向別邸
旧日向家熱海別邸

渡辺 仁　による上屋
ブルーノ・タウトによる
屋上庭園の地下が地下室

竣工時の外観
（『住宅建築図集』株式会社清水組1939年）

上屋間取り

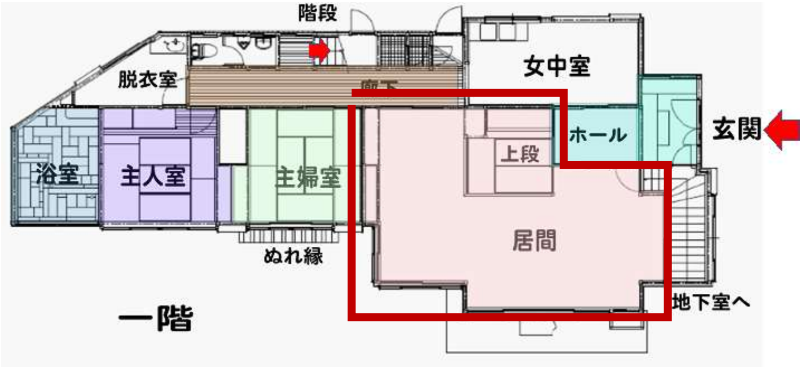
上屋建設中に地下室の計画が始まっている。

■初期の設計図は、階段がなくこの様な状態と推定。

二階

一階

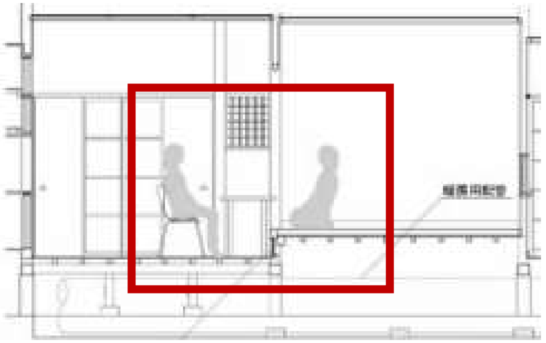
1階　居間



上段

天井　地下室へ影響

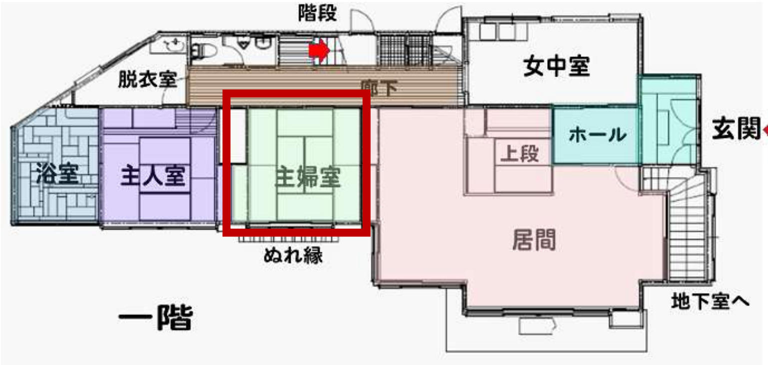
南側をみる



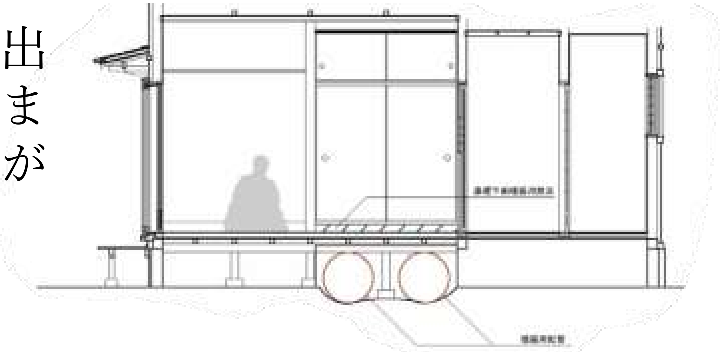
無双窓

西側をみる

主婦室



庭への掃き出し窓からは自由に庭への出入りができるようmぬれ縁が設けられました。押入れの下部、ここにも無双窓がもうけられています。



無双窓

浴室

浴室は多くの変更箇所がある
当時のものは木壁、天井なのどを
残し変化。

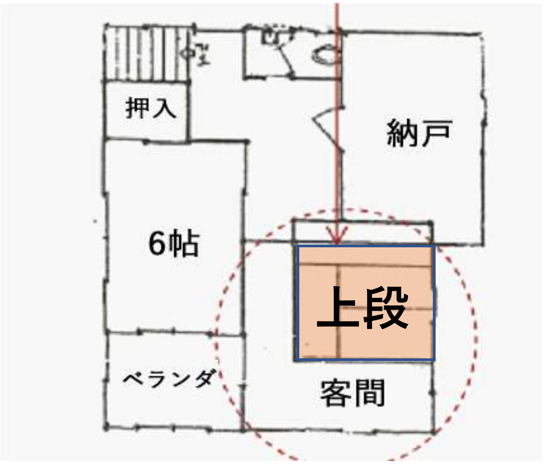
湯気抜きなどは、湯屋の原理の基
づきつくられている。
天井は船底とし　中央部に排気ガ
ラリがもうけられている。

＊平成20年3月「旧日向別邸保存活用計画」より

浴槽は当時とっことなっている
広い浅い浴槽もあり興味深い

2階　客間

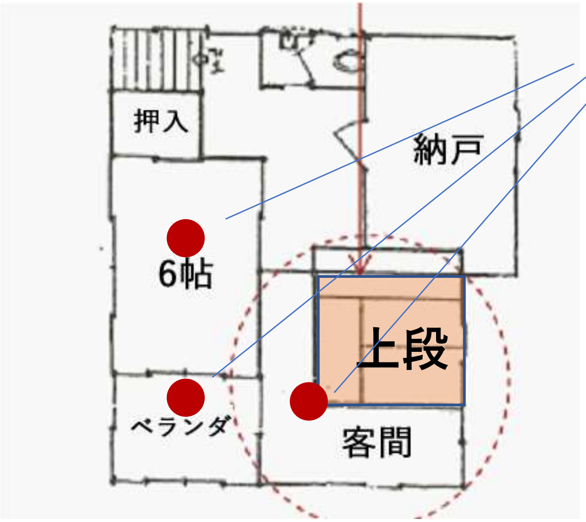
現在は8畳すべてに畳が敷かれているが、設計当時は、一階居間と同じ上段がおかれていたよう。



2階　和室-ベランダ

6帖間

ベランダ



1935年4月16日　タウトはこの3室を使って滞在したようだ。
とすればこうした景色をみたのだろうか

熱海の二つの別荘

タウトと日向の赤い糸?

ブルーノ・タウト
昭和8年5月来日

昭和13年逝去

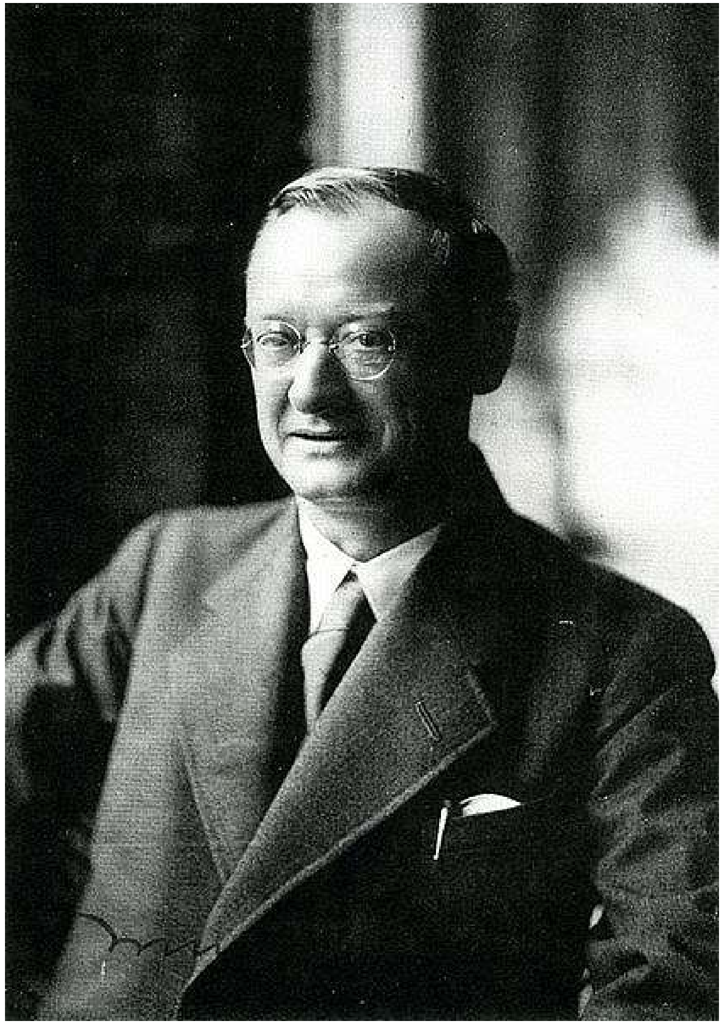
昭和10年4月受託

昭和11年9月竣工

日向利兵衛
昭和8年9月土地取得

昭和14年逝去

ブルーノ･タウト：地下室設計　＊タウトについては詳細は8月、9月の講座で



- **ドイツ**の建築家。 ケーニヒスベルクにて誕生。生地の建築学校を終え， T.フィッシャーに師事，ベルリンに設計事務所を開設。13年のライプチヒ国際建築博覧会で「**鉄の記念塔**」，14年ケルンのドイツ工作連盟展で設計した「**ガラスの家**」よって一躍有名となり，マクデブルク市の建築土木課長となり**色彩宣言**を試みて注目された。 24年ベルリンに帰り，1万 2000戸にのぼる集合住宅である**ジードルング**を設計した。ベルリンのシャルロッテンブルク工科大学教授。 **表現主義の代表**とされる。
- 昭和8年シベリアを経て来日，**日本**の建築と美術に深い理解を示し、仙台，高崎などで工芸を指導した。日本での建築に熱海の**旧日向別邸**，麻布の大倉邸がある。ほか，『ニッポン』(34)，『日本文化私観』(36) など日本に関する著作も多い。「**日本美の再発見**」は現在でも世界の人々に愛読さてている。京都の**桂離宮**に近代建築に通じる美があることを説いて，日本の建築家に大きな影響を与えた。
- 36年**トルコ**のイスタンブール芸術大学教授となり離日した。

地下室に関わった人々

三期工事

タウト紹介：柳沢健

三原徳言

棟梁：佐々木嘉平

地下室設計：B.タウト

設計支援：吉田鉄郎

施主：日向利兵衛

二期工事

上屋・土留め

屋上庭園

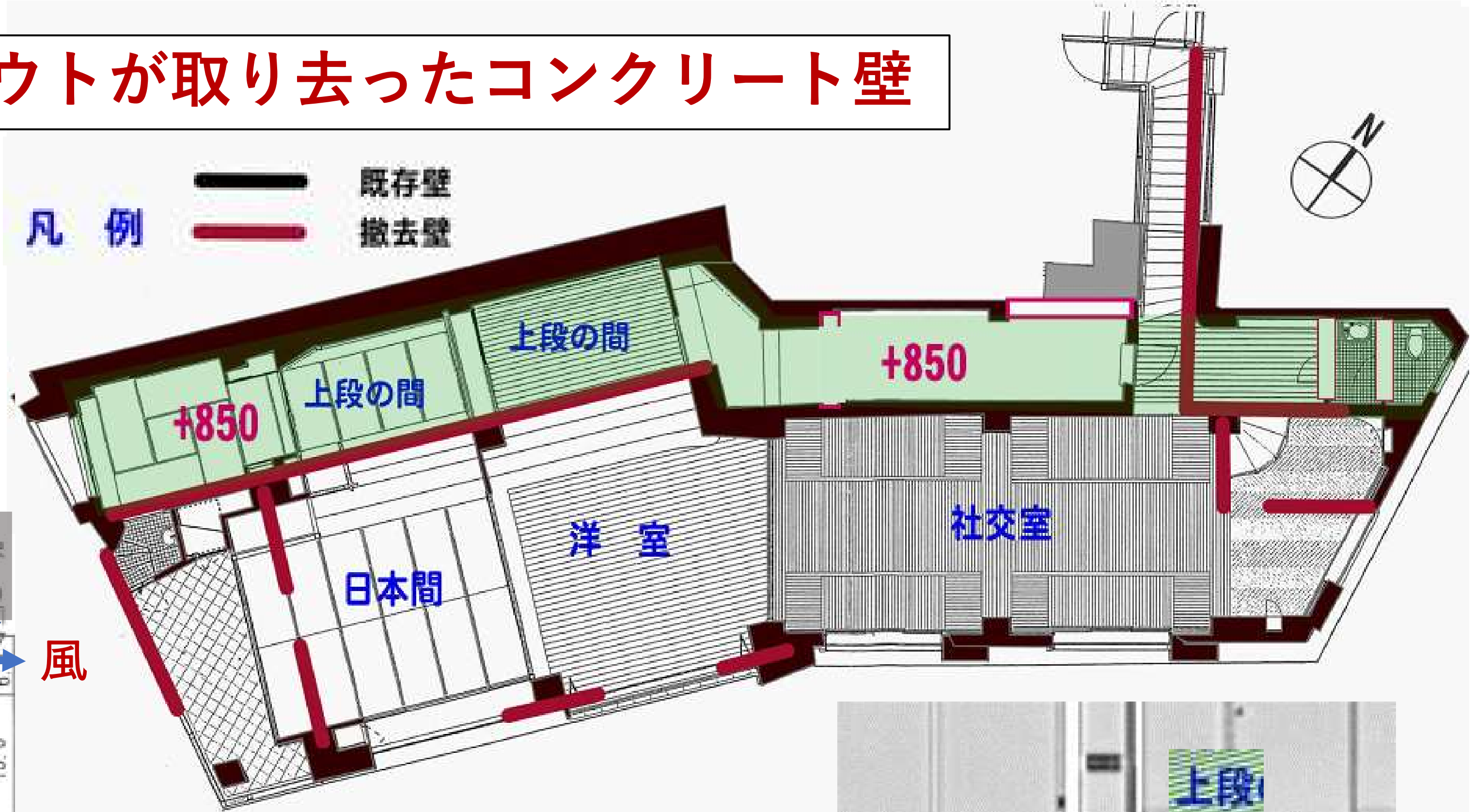
（株）清水組

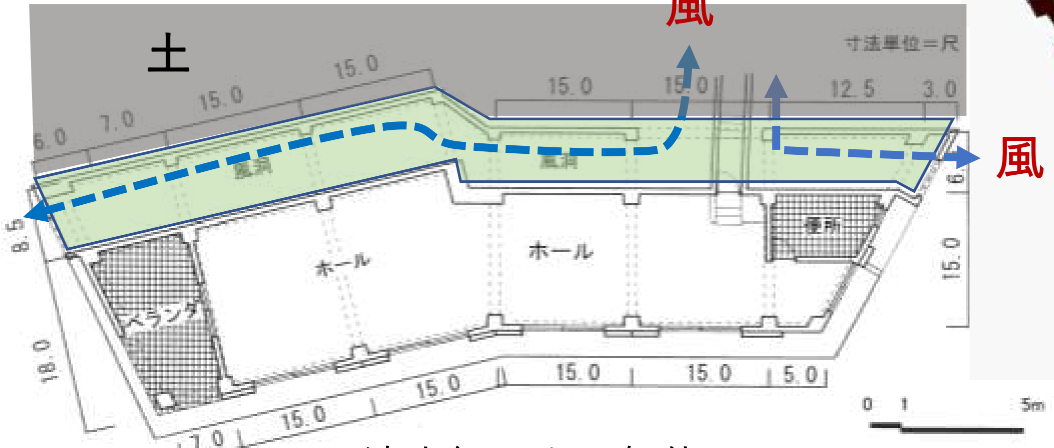
タウトによる躯体変更　傾斜と風洞

- 清水組の躯体をタウトはこんな姿に変えました。
- そのマジックは？
- 否　それはマジックではありません。
- 確実なタウトの意思・思想が作り上げた現実です。

階段巾900⇒1200

タウトが取り去ったコンクリート壁





清水組による躯体図

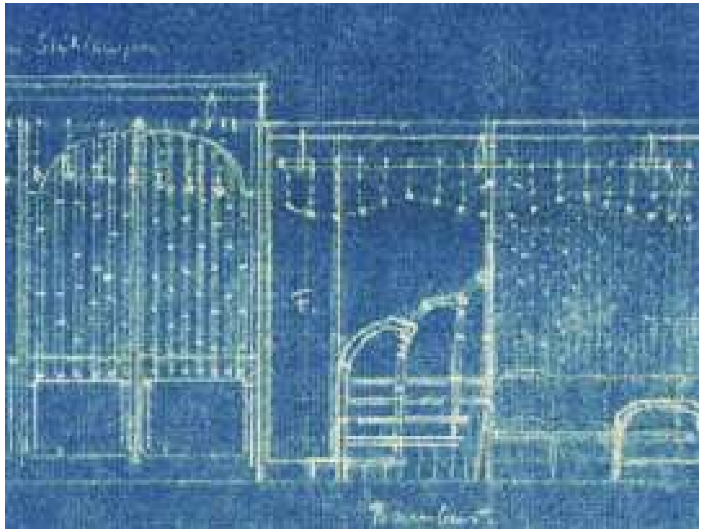
※清水建設株式会社所蔵図面より作成

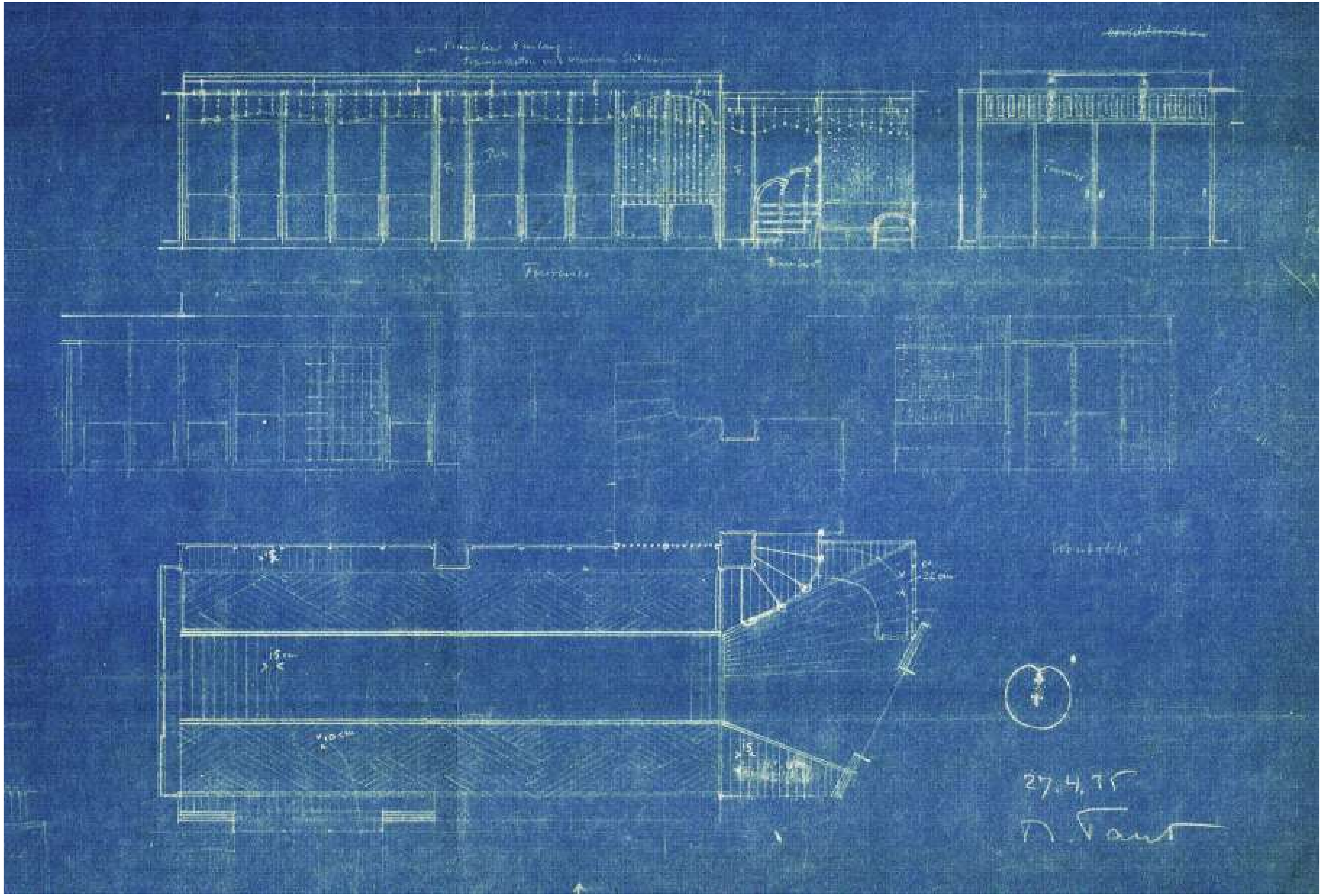
4日で仕上げた
タウトの図面
S11-4-27

契約後4日後に提出し承認された図面。

社交室の平面兼天井伏せ図と展開図が詳細に描かれ、ほぼこのまま完成された。

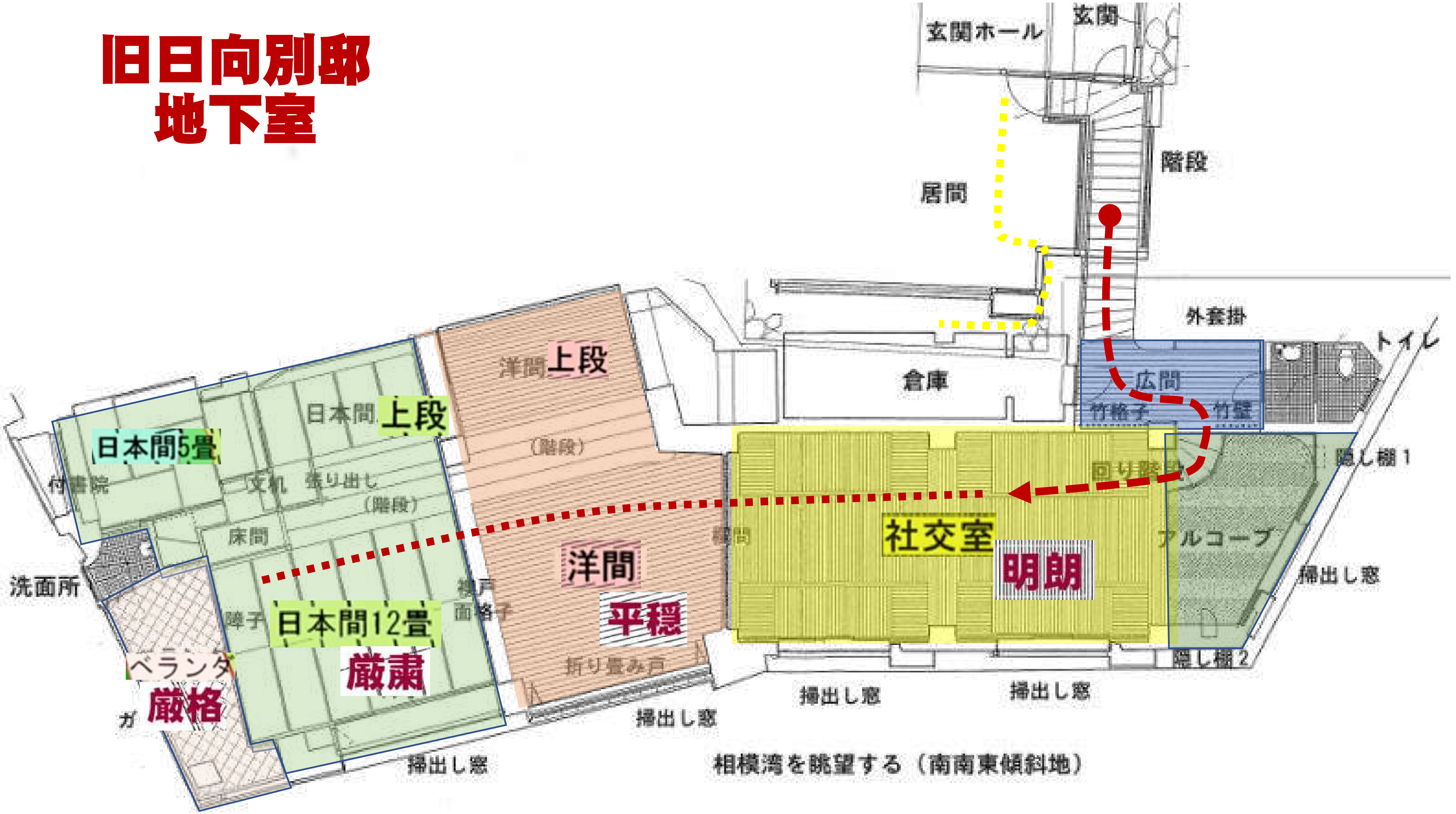
波打つ吊照明、天井の模様張り、火頭窓の竹、などの全体が設計されている。





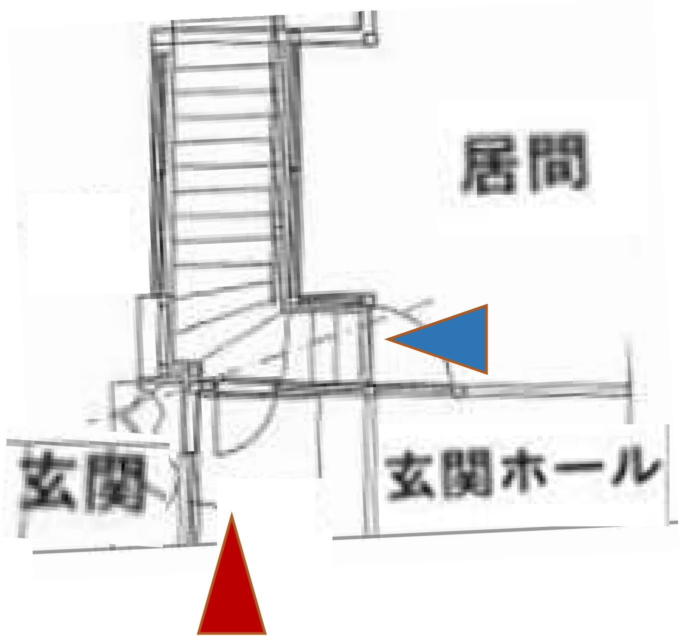
私の建築は　写真ではわからない
実際の建物（空間）に入って
はじめて
感じ理解することができる。

旧日向別邸
地下室



玄関ホール
玄関
階段
居間
外套掛
トイレ
倉庫
広間
竹格子
竹壁
洋間上段
日本間上段
（階段）
日本間5畳
付書院
文机
張り出し
（階段）
床間
回り階段
隠し棚1
社交室
明朗
アルコーブ
洋間
平穏
洗面所
障子
日本間12畳
面格子
掃出し窓
厳粛
ベランダ
厳格
折り畳み戸
隠し棚2
掃出し窓
掃出し窓
掃出し窓
掃出し窓
相模湾を眺望する（南南東傾斜地）

地下室へ

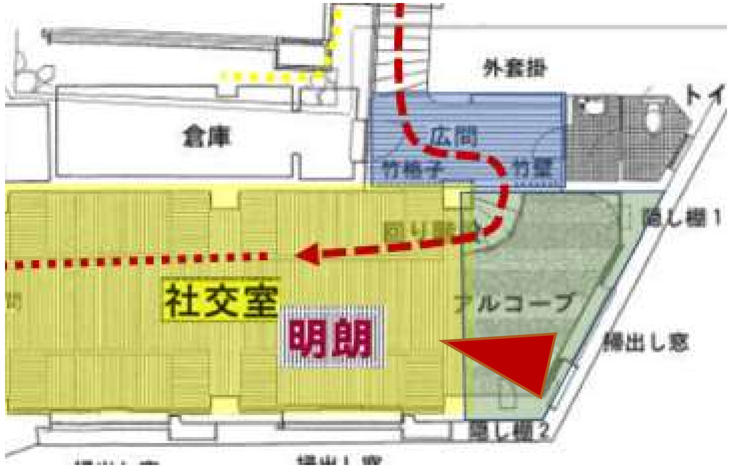


広 間

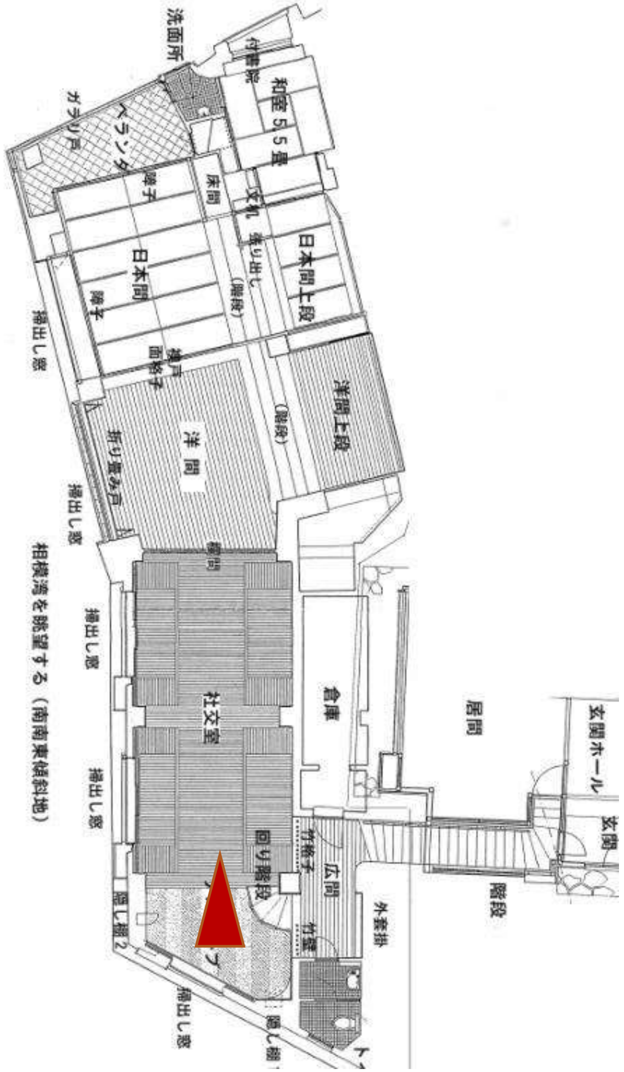
廻り階段

アルコーブ
―竹の間―

社 交 室
ピンポン室

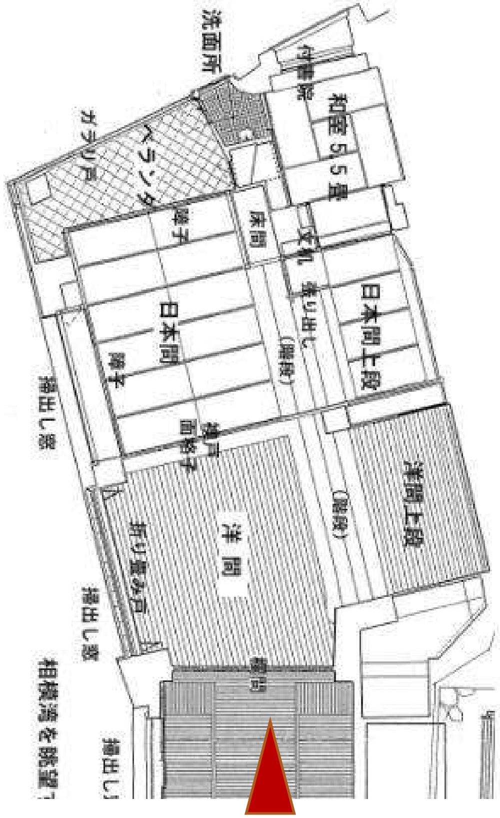


諧　調

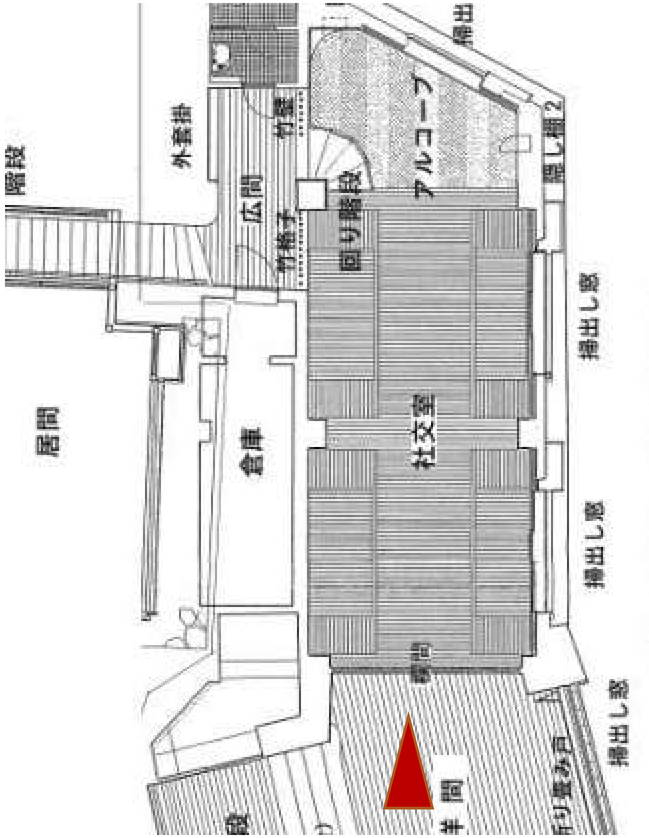


洗面所
ベランダ
和室5.5畳
日本間
日本間上段
洋間
洋間上段
社交室
倉庫
居間
玄関ホール
玄関
階段
広間
回り階段
相模湾を眺望する（南南東傾斜地）

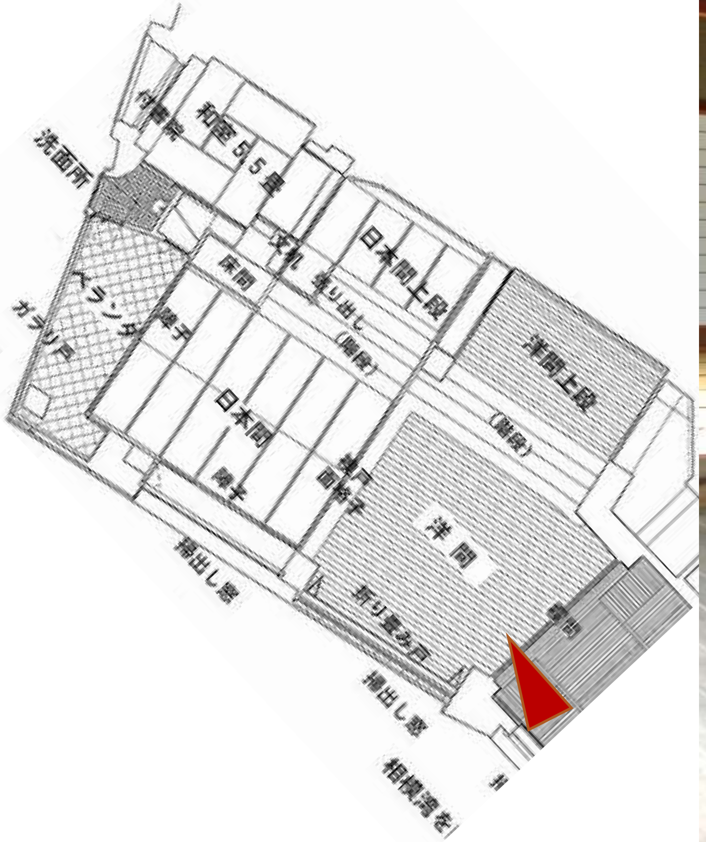
洋 間
日本間・ベランダ


洗面所
和室5.5畳
ベランダ
ガラリ戸
障子
床間
違棚
日本間上段
日本間
障子
(階段)
掃出し窓
洋間上段
(階段)
洋 間
折り畳み戸
掃出し窓
相模湾を眺望

洋 間
社交室・竹の間

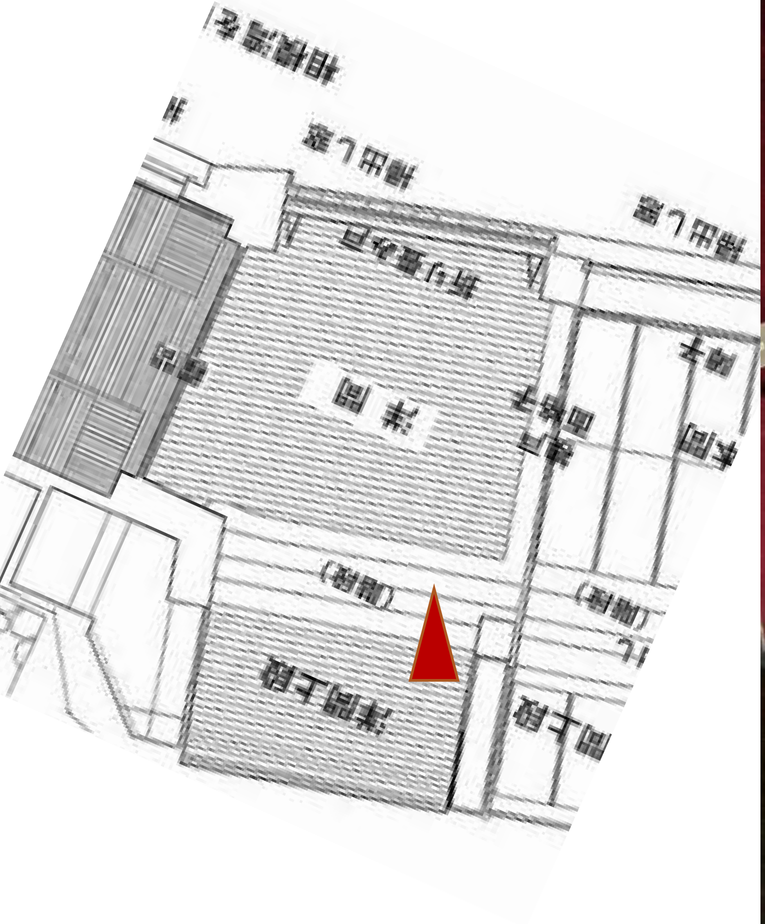


洋 間
・
日本間

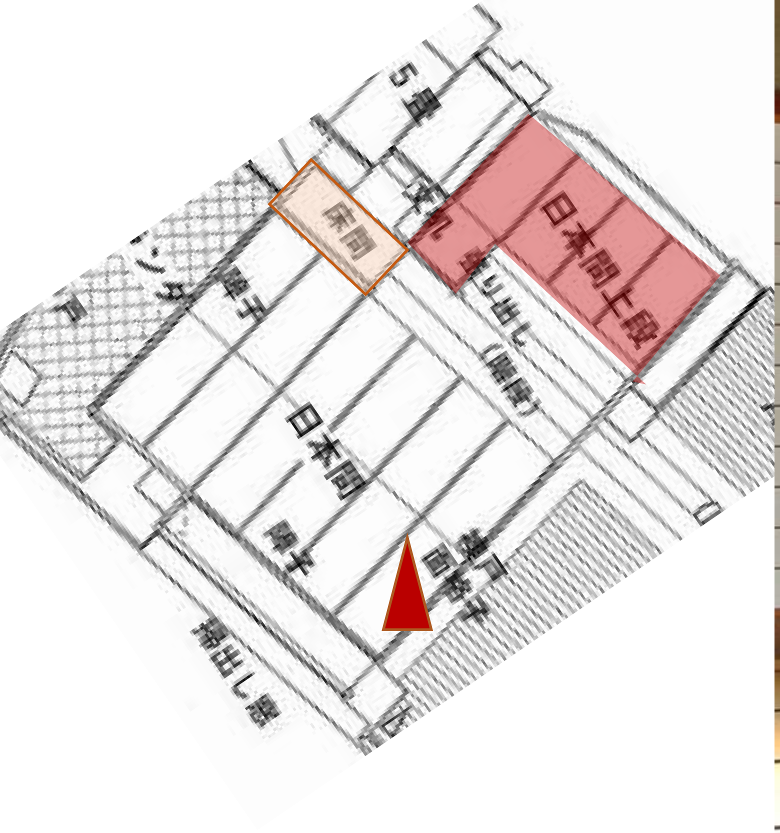


洋 間

海側

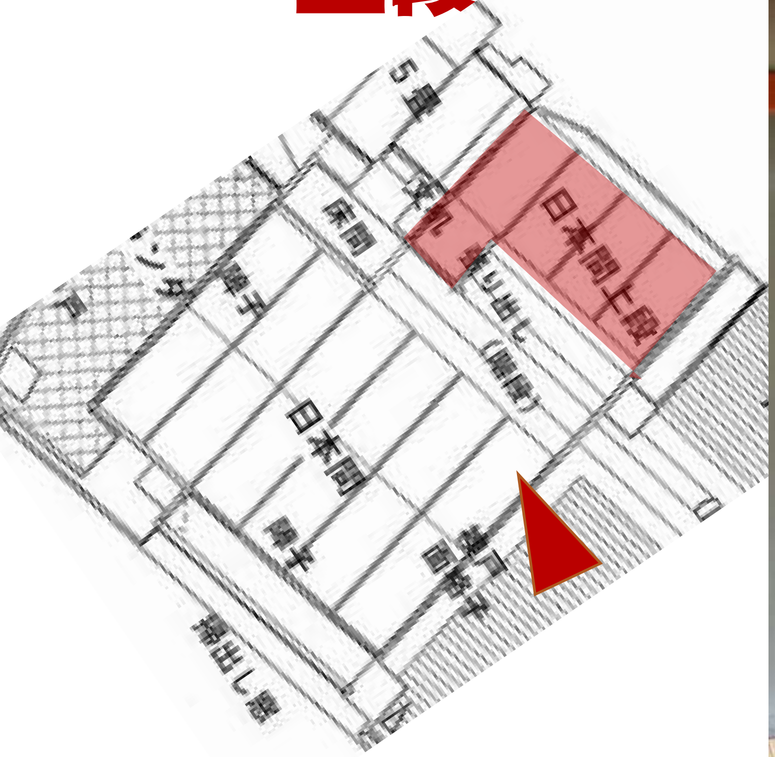


日本間



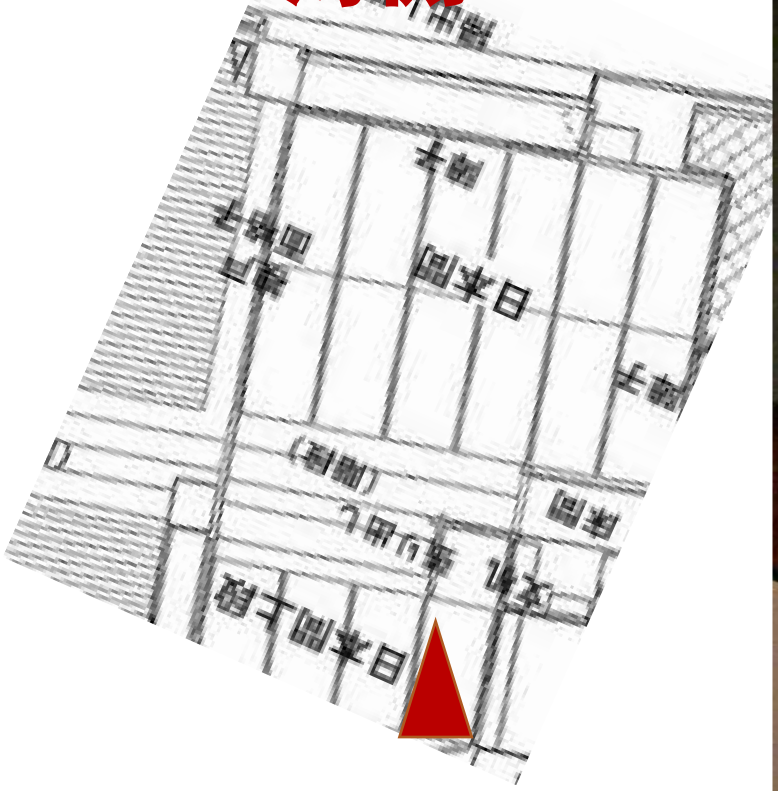
日本間

上段

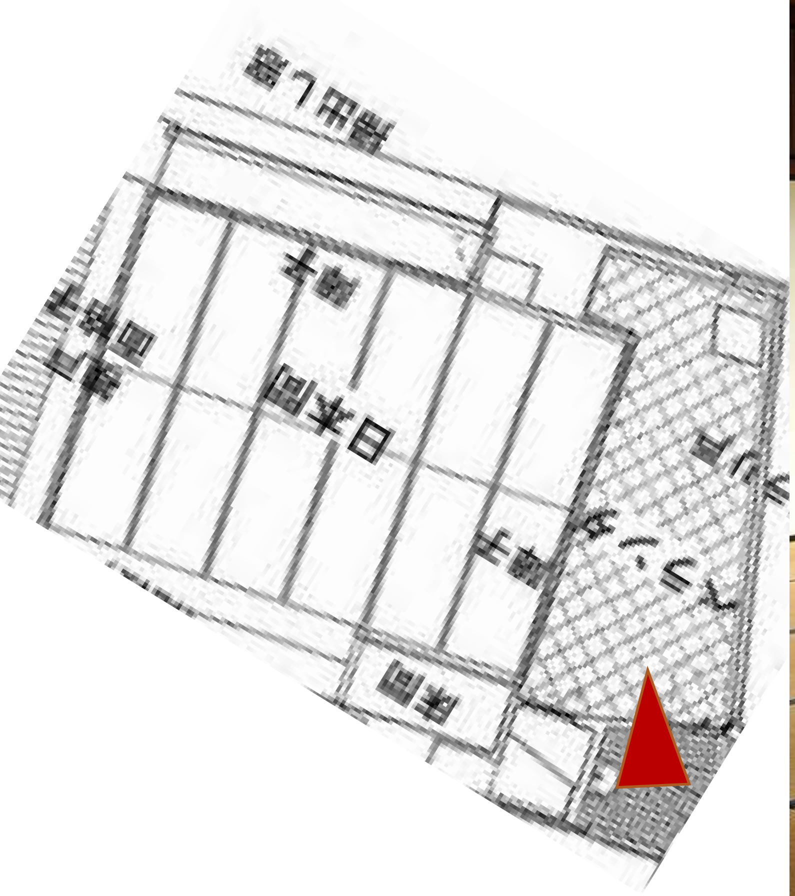


日本間

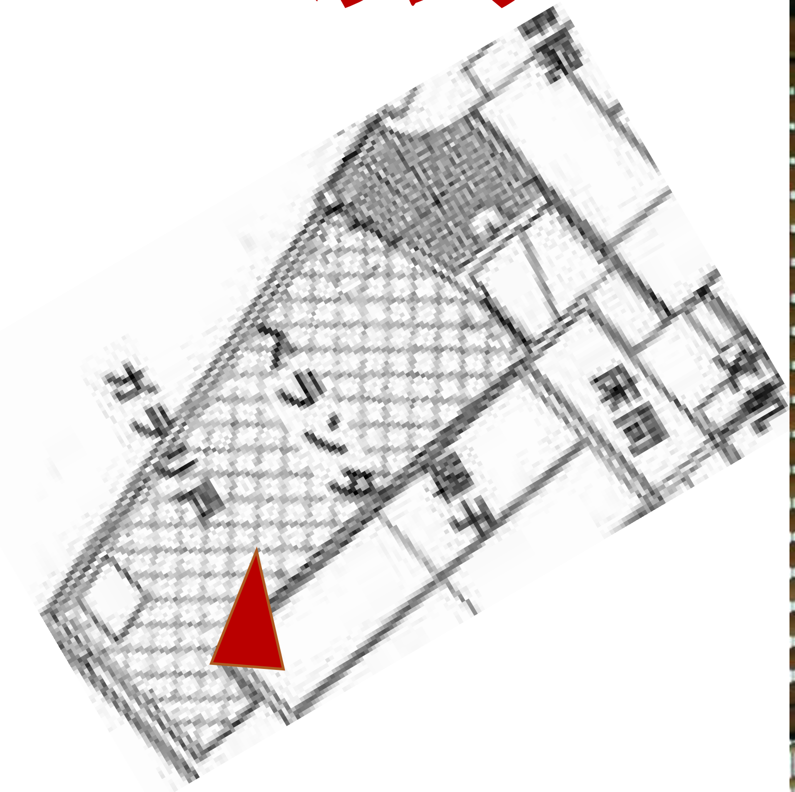
海側



ベランダ
日本間



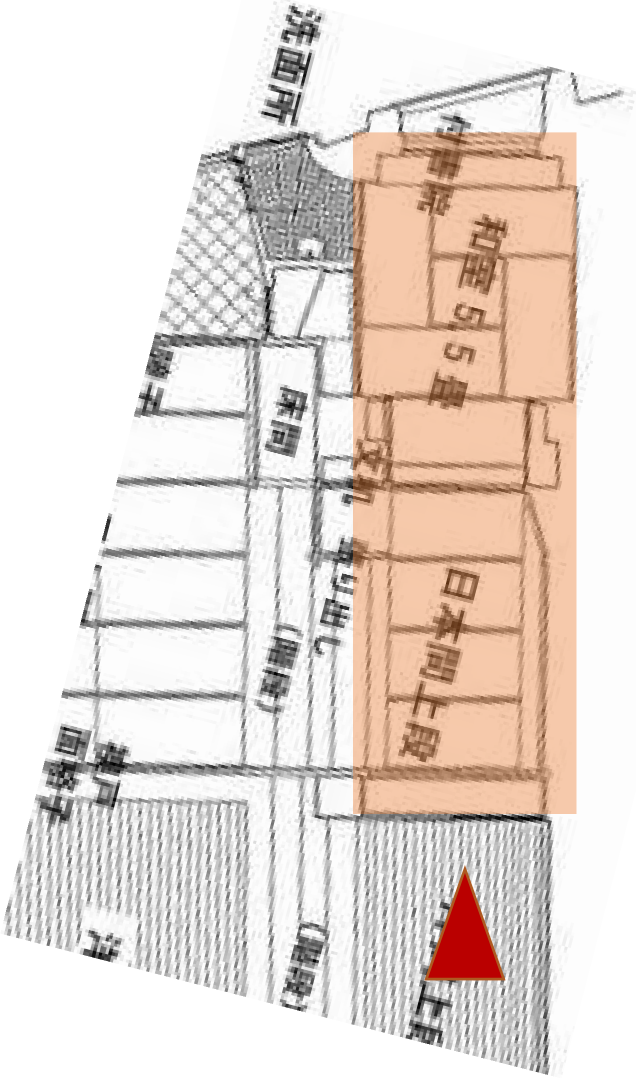
ベランダ



和室5.5畳
ベランダ

和室5.5畳

上段
洋室-12畳-5.5畳



旧日向別邸 竣工

S10.4設計
S10.7着工
（13か月）
S11.8竣工
S11.9撮影
（1か月）
S11.10離日

日向邸の平面図と洋風客間，中央にタウトとエリカ，他にブブノワ夫妻，吉田鉄郎，水原徳言，高村鍵三，島田巽夫妻，1936年9月20日，島田巽氏提供.

ブルーノ･タウトが旧日向別邸に託したもの

- 眺望の取り入れ
- 自然環境　桂離宮
- 多様性の統一　　　謎の1900mm
- 多様な視界
- 上屋との連携

この景色をどう豊かに見せるか・・・

旧日向別邸から相模湾を望む

海抜85mに佇む旧日向別邸

旧日向別邸の眺望　　朝 太陽

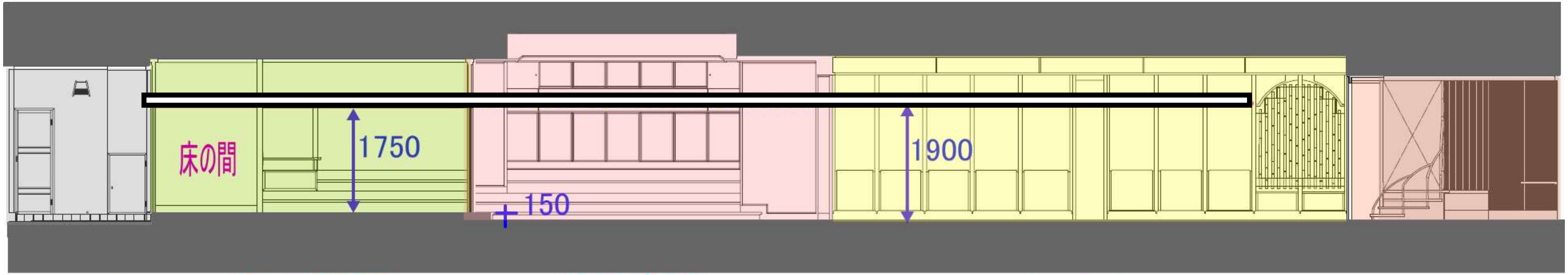
- 朝日は水平線より上り、小さな点はたちまち上り天空を赤く染め日常が始まる。

旧日向別邸の眺望　夜　月

- 月もまた海に一筋の道をつくる。穏やかな相模湾のに伸びる月の道は穏やかで心をやすめてくれる。
- 当時は初島周辺にイカ釣り漁船が沢山でており　夜の景色をつくっていた。

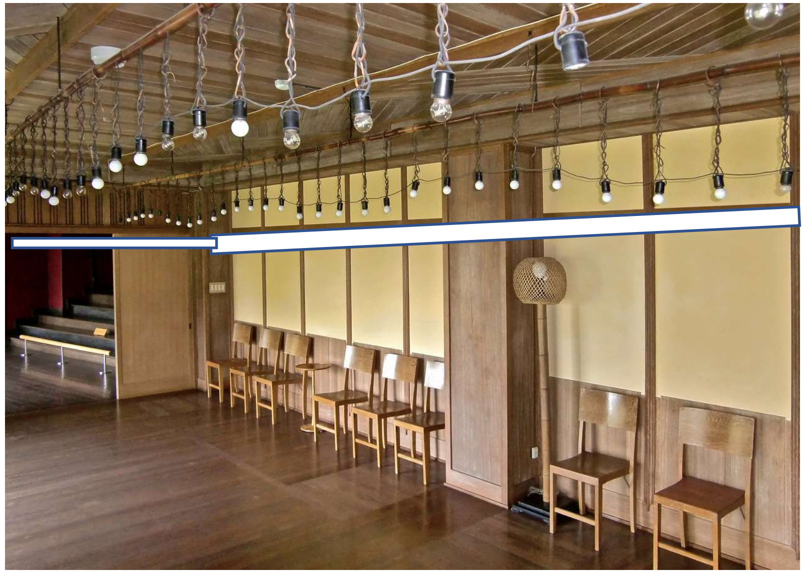
内と外との連携　桂離宮

多様性の統一　魔法の1900mm



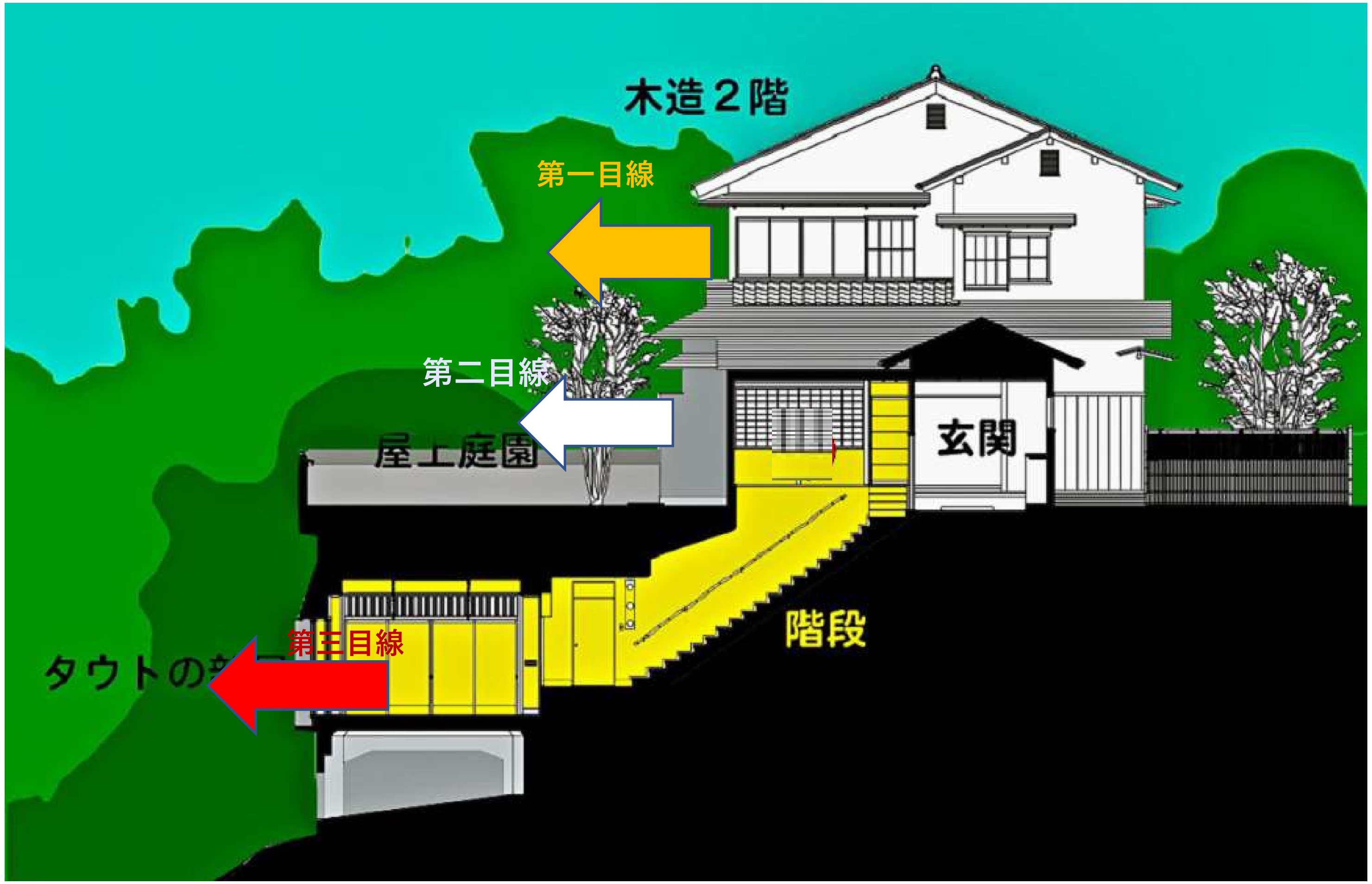
ベランダ　和風客間　洋風客間　社交室　竹の間

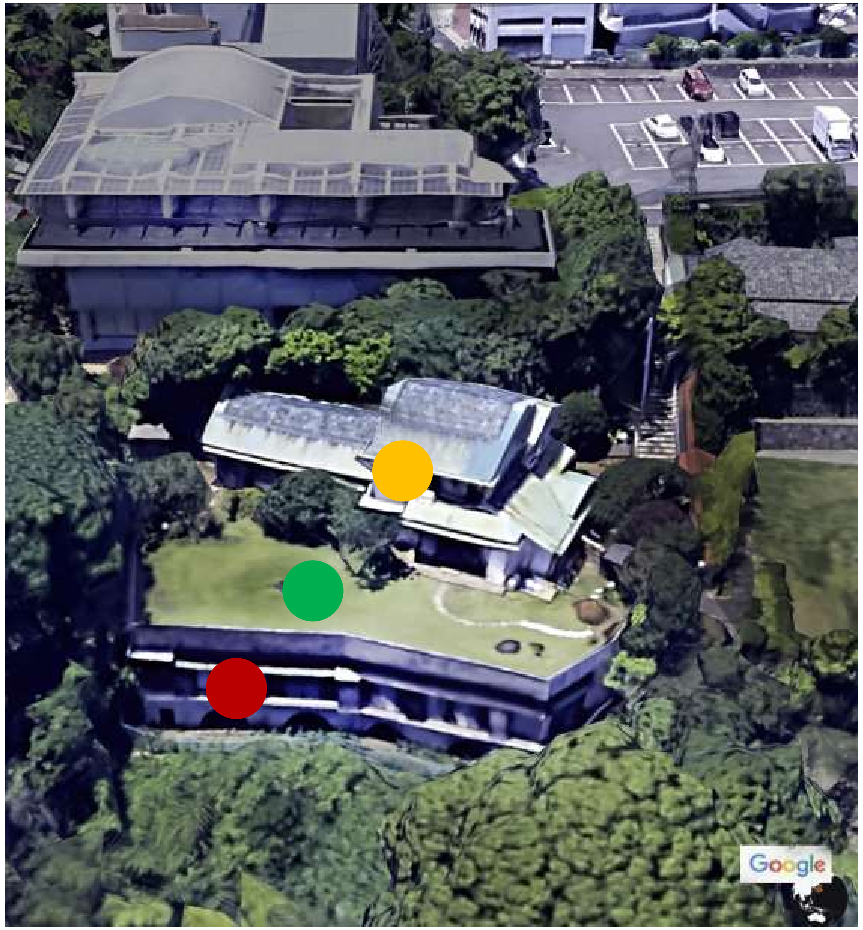
日本風ベランダ　日本座敷　洋風モダンな居間　ピンポン室



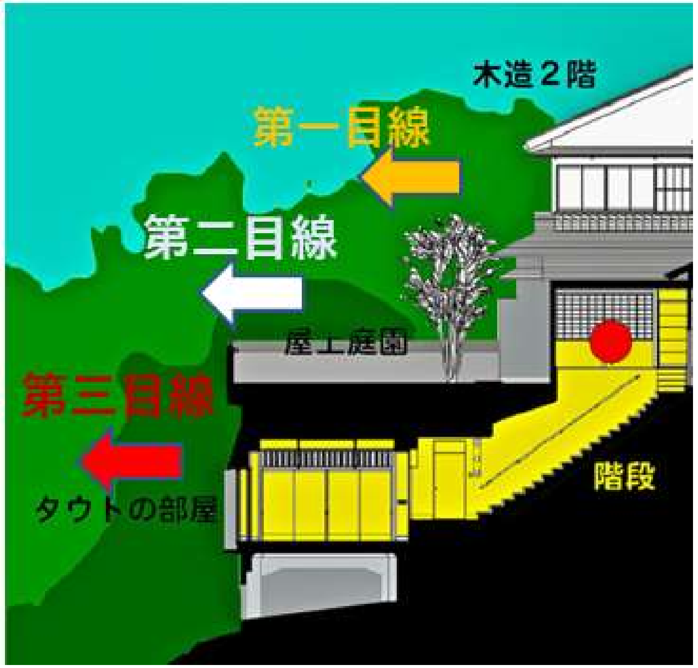
多様な視角･目線
全景

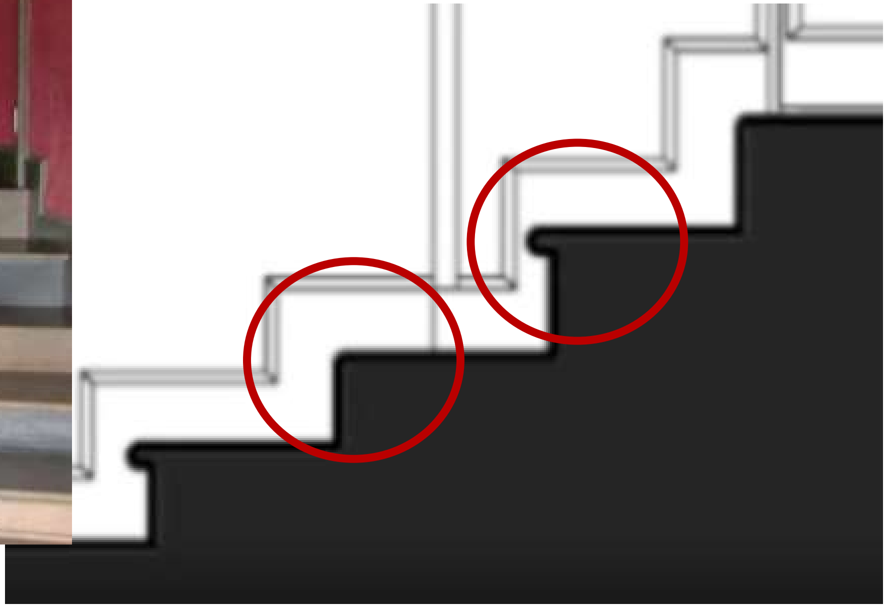
- 旧日向別邸は三期工事でできあがった
- それは偶然かもしれないが、海に対する3つの高さの目線をつくった
- タウトは地下室の階段状の家具を工夫し、海へも高さによる視覚をつくりだしている。





タウトの目線　　階段状の家具

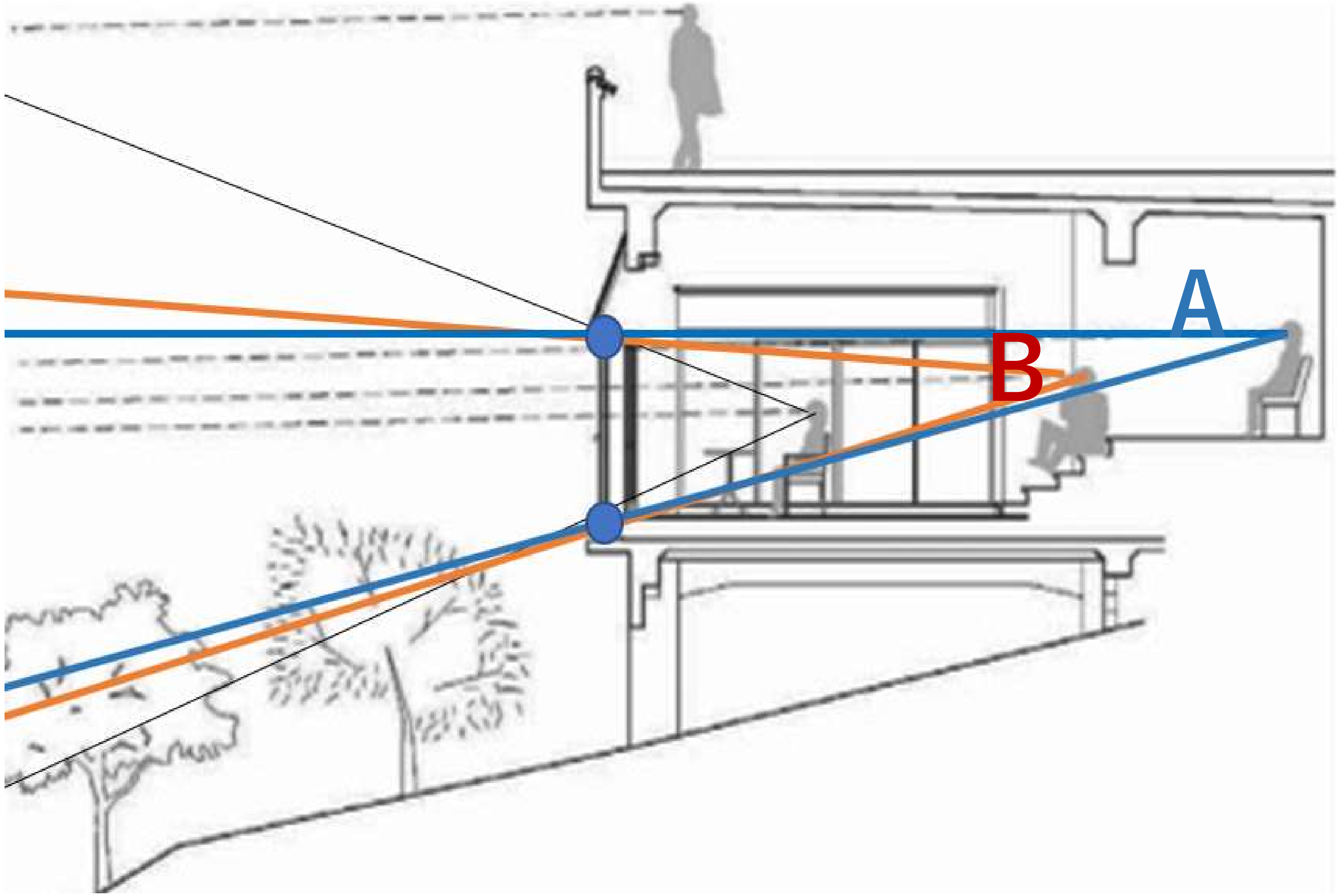




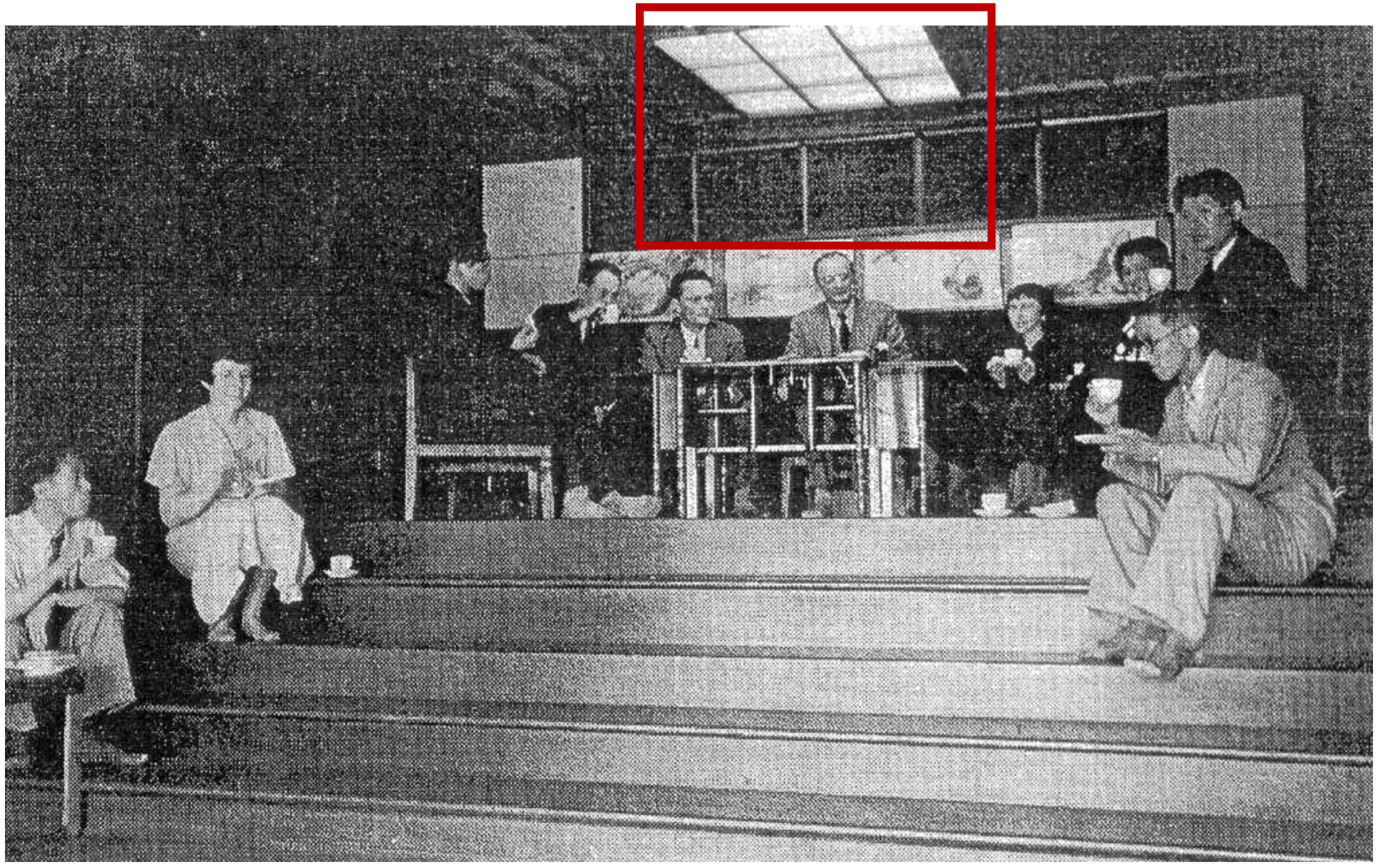
視界の変化　立体的な視覚

A

B

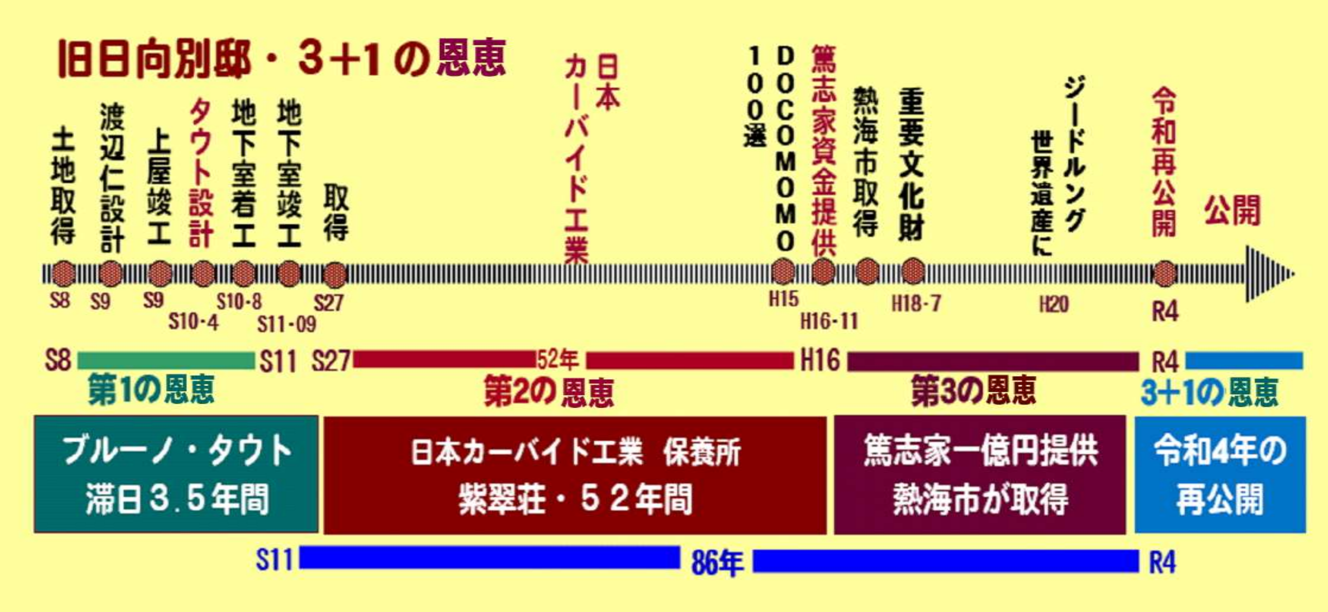


上屋との連続



3+1の恩恵

存続の栄光-永遠なるもの



ATAMI海峯楼	建築家つながり	旧日向家熱海別邸	時代つながり	東 山 荘
1997・H7 設計：隈研吾		1936・S9 設計：ブルーノ・タウト 国重要文化財		1933・S8 岡田茂吉 国登録有形文化財

熱海新聞　令和3年（2021年）2月21日（日曜日）　日刊

熱海新聞

一棟貸し高級ホテル開業へ

伝統建築守り改修

デザイナー 沢山さん

東山エリア

新たに開業する須藤水園＝熱海市春日町（提供写真）

熱海市の東山エリア一帯に3月6日、一棟貸しの高級ホテル3施設が一挙オープンする。世界的デザイナーの沢山乃莉子さん（61）がプロデュースし、古い旅館などを改修して伝統建築素材・伝統工芸・アートが息づく滞在空間を目指した。地域の美術・工芸を知る旅の拠点にしていくという。

来月6日、一挙3施設

オープンするのは目利きがこだわった伝統建築・工芸・アートなどを楽しめる「キュレーションホテル」。築87年の伝統建築を改修した春日町の「須藤水園（すどうすいえん）」、築40年余りのコンクリート造りの元保養所を間伐材などで改装した桃山町の「桃山雅苑（ももやまがえん）」、2018年に一部オープンしていた春日町の「桃乃八庵（とうのやあん）」。

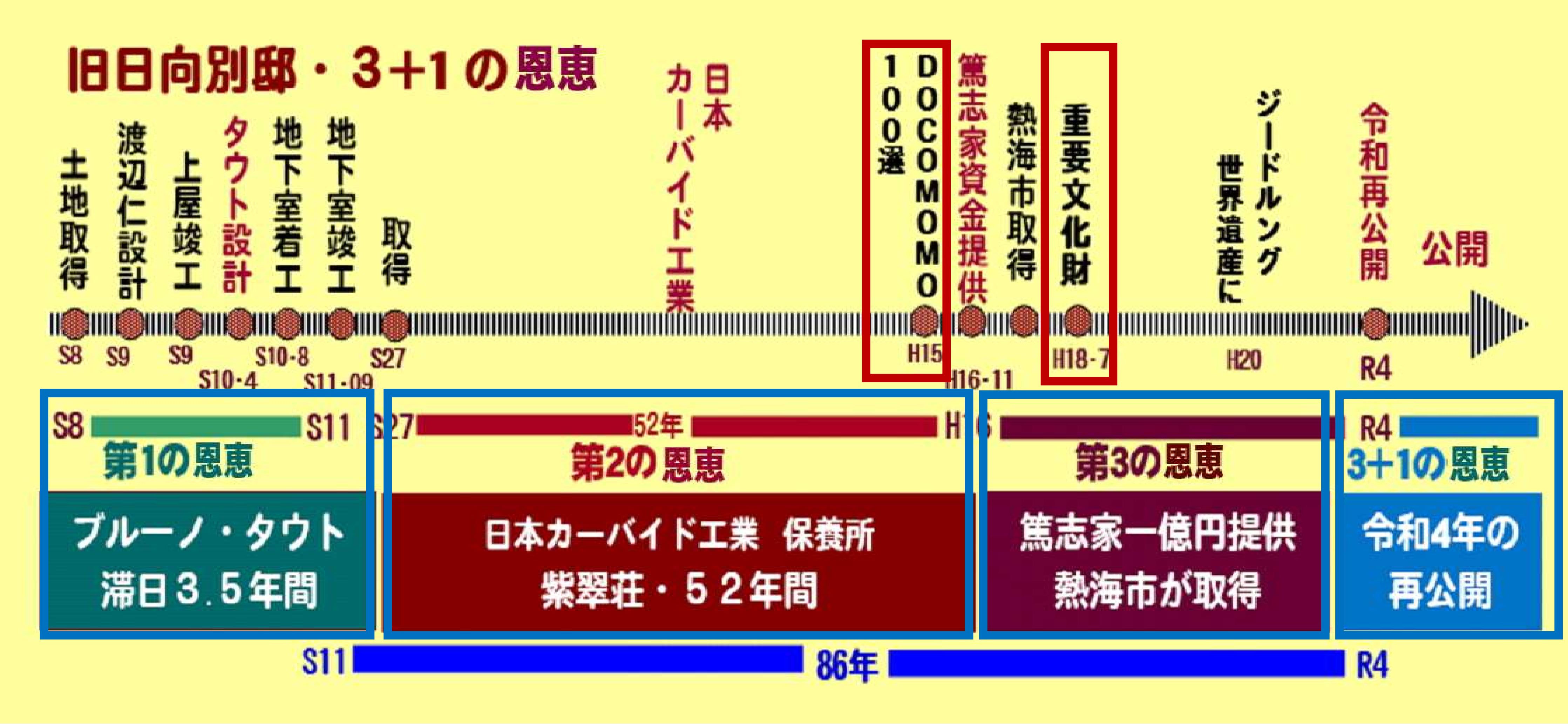
三つは伝統保全や廃材・二酸化炭素削減などが留意され、国際的なデザイン賞を得ている。「ザ・キュレーションズ」（濱一社長、桃山町）が運営し、沢山さんは同社取締役を務める。

沢山さんは「ロンドンで17年間デザイン事務所を主宰し9割以上が改築だった。工法は伝統工法で法律も厳

され、築100年以上の家や街並みは未来永劫（えいごう）守られている。日本にも伝統建築や工芸はあるがいとも簡単に壊され、新建材に合わなくなった伝統の技や工芸品は行き場をなくす現実がある。日本の伝統を守り後世に伝えることが、英国で伝統建築の修復を生業とした私の使命。ビジネスと併用できる手段としてキュレーションホテルを作った。長くロンドンと熱海の2拠点生活をした私にとって、熱海でスタートできたことはこの上ない幸せ」とコメントした。

ホテルはいずれも素泊まりで桃乃八庵と須藤水園は20万円から、桃山雅苑は32万円から。予約は専用ウェブサイトで行う。

旧日向別邸 3-1の恩恵

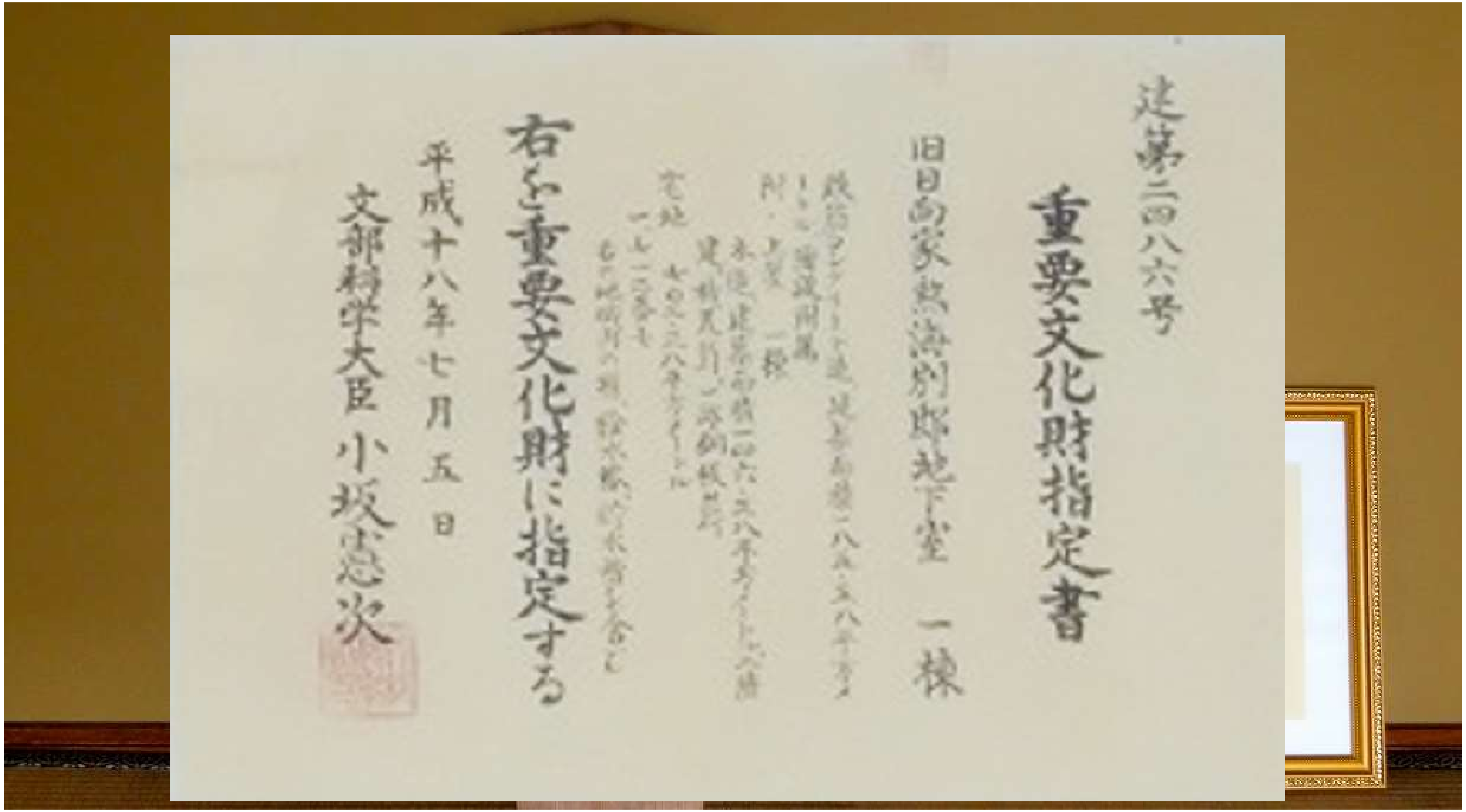

旧日向別邸・3+1の恩恵
土地取得
渡辺仁設計
上屋竣工
タウト設計
地下室着工
地下室竣工
取得
日本カーバイド工業
DOCOMOMO 100選
篤志家資金提供
熱海市取得
重要文化財
ジードルング 世界遺産に
令和再公開
公開
S8
S9
S9
S10-4
S10-8
S11-09
S27
H15
H16-11
H18-7
H20
R4
S8
S11
第1の恩恵
ブルーノ・タウト
滞日3.5年間
S27
52年
H16
第2の恩恵
日本カーバイド工業 保養所
紫翠荘・52年間
第3の恩恵
篤志家一億円提供
熱海市が取得
R4
3+1の恩恵
令和4年の
再公開
S11
86年
R4

重要文化財指定書　旧日向家熱海別邸地下室 1棟

do.co.mo.mo_
2003（H15）

市指定有形文化財
2005（H17）

重要文化財指定書
第2486号
2006（H18・7・5日）



タウトの世界遺産

6つの中4つが世界遺産に‥

住宅地名	所在地	建設年代	画像
ガルテンシュタット・ファルケンベルク（Gartenstadt Falkenberg）	トレプトー・ケーペニック区ボーンスドルフ（Bohnsdorf, Treptow-Köpenick）	1913年-1916年	
ジードルンク・シラーパーク（Siedlung Schillerpark）	ミッテ区ヴェディンク（Wedding）	1924年 - 1930年	
グロスジードルンク・ブリッツ（Großsiedlung Britz）	ノイケルン区ブリッツ（Britz）	1925年-1930年	
ヴォーンシュタット・カール・レギエン（Wohnstadt Carl Legien）	パンコー区プレンツラウアー・ベルク	1928年-1930年	

ATAMI海峯楼　H7年

海峯楼は、熱海市春日町8-33、旧日向別邸に隣接した地に1995年（平成7年）3月に、ゲームメーカーのゲストハウスとして建設された。現在は、旅館として「ATAMI海峯楼」の名で営業されている。

私のこの「水／ガラス」という作品の敷地は、そんなタウトの設計した「日向別邸」の隣でした。タウトの作品が熱海にあることも知らなくて、この建物の設計を依頼されて隣に建っていることを知ったときにはたいへん驚いた。
ここでも僕は、せっかくタウトの隣なんだから縁側をやろうと思ったんですね。それも水の縁側をつくろうと考えた。

（東西アスファルト事業協同組合講演会　物質性とサイバースペースより）

熱海にある建築家・隈健吾の作品

1. ATAMI海峯楼
2. 界 熱海 古々比の瀧
3. コエダハウス
4. 伊豆の風呂小屋

キュレーションホテル　令和2年

キュレーションホテルとは、日本が誇る美の伝統を革新的デザインで未来につなぐ「場」として、選び抜かれた伝統建築素材・伝統工芸・アートが息づく空間での滞在を提供するホテルです。

THE CURATION HOTEL

熱海東山エリアに
キュレーションホテル　須藤水園・桃乃八庵・桃山雅苑　開業

熱海新聞　令和3年（2021年）2月21日　（日曜日）　日刊

熱海新聞

熱海新聞
熱海市中央町19-14
コルト山田ビル1F
〒413-0015
電話 0557(81)0648
FAX 0557(83)3553

伊豆新聞本社
〒414-0054
伊東市鎌田1290-6
電話 0557(36)1234

伊豆新聞デジタル
https://digital.izu-np.co.jp

一棟貸し高級ホテル開業へ
伝統建築守り改修
デザイナー 沢山さん
東山エリア

新たに開業する須藤水園＝熱海市春日町（提供写真）

熱海市の東山エリア一帯に3月6日、一棟貸しの高級ホテル3施設が一挙オープンする。世界的デザイナーの沢山乃莉子さん(61)がプロデュースし、古い旅館などを改修して伝統建築素材・伝統工芸・アートが息づく滞在空間を目指した。地域の美術・工芸を知る旅の拠点にしていくという。

来月6日、一挙3施設

オープンするのは目利きがこだわった伝統建築・工芸・アートなどを楽しめる「キュレーションホテル」。築87年の伝統建築を改修した春日町の「須藤水園（すどうすいえん）」、築40年余りのコンクリート造りの元保養所を間伐材などで改装した桃山町の「桃山雅苑（ももやまがえん）」、2018年に一部オープンしていた春日町の「桃乃八庵（とうのやあん）」。

三つは伝統保全や廃材・二酸化炭素削減などが留意され、国際的なデザイン賞を得ている。「ザ・キュレーションズ」（濱一社長、桃山町）が運営し、沢山さんは同社取締役を務める。

沢山さんは「ロンドンで17年間デザイン事務所を主宰し9割以上が改築だった。工法は伝統工法で法律も規制され、築100年以上の家や街並みは未来永劫（えいごう）守られている。日本にも伝統建築や工芸はあるがいとも簡単に壊され、新建材に合わなくなった伝統の技や工芸品は行き場をなくす現実がある。日本の伝統を守り後世に伝えることが、英国で伝統建築の修復を生業とした私の使命。ビジネスと併用できる手段としてキュレーションホテルを作った。長くロンドンと熱海の2拠点生活をした私にとって、熱海でスタートできたことはこの上ない幸せ」とコメントした。

ホテルはいずれも素泊まりで桃乃八庵と須藤水園は20万円から、桃山雅苑は32万円から。予約は専用ウェブサイトで行う。

＊左説明文・写真はHOTELIER（ホテリエ）より掲載

東山文化を生み.育み.繋ぐ　時･人･建築

東山文化を繋ぐ　時＆人

昭和

旧日向別邸
S11
東山

東山荘
S08
東山

杵屋旧邸
S11
東山

平成

海峯楼
H07
東山

東山トリオ
旧日向別邸
東山荘
海峯楼

令和

桃乃八庵
R03
東山

須藤水園
R03
東山

桃山雅苑
R03
桃山

東山トリオ　時を繋ぎ、時を超えて佇む

東山の小さな丘の上には、三つの個性的な施設が肩を並べて建っています。またその周辺にも熱海の昭和レトロが・・・。
次回は東山が生み育んできた個性来な建物を中心に紐解きます

初島中学生
旧日向別邸
見学

短歌を詠む

日向別邸に思いを馳せて

熱海市立初島中学校・2年　大西拓未

地下にある壁の色彩個性的
ドイツと日本昔の技術

熱海市立初島中学校・2年　田中健太

木々の中ひっそりたたずむ日向邸
ブルーノ・タウトの若き日思う

熱海市立初島中学校・3年　坂本拓哉

木々の中　ブルーノ・タウトの屋敷あり
長い眠りをこの日覚ました

熱毎市立初島中学校・1年宮下水希

日向邸　カーテンに似た竹の戸が
すっかり部屋に溶け込んでいた

熱海市立初島中学校・2年　田中博観

木々のなか深紅の壁にかこまれて
京都を感じる日向別邸

熱海、箱根の不思議発見

初島中が2泊で自然教室

全生徒5人 魅力を体感

熱海市立初島中学校（後藤賢校長）は七日から九日まで二泊三日の日程で、自然教室を行っている。「熱海、箱根の不思議発見」をテーマに、全生徒五人が熱海と箱根の文化施設、自然などを見学しながら、両市町の魅力を体感している。

初日、まず旧日向邸見学

中井さんの説明を受けながら旧日向邸を見学する生徒たち＝春日町で

初日は春日町の旧日向邸から見学を始めた。旧日向邸は二十世紀を代表するドイツの建築家ブルーノ・タウトが地下室（増築部分）を設計した日本に残る唯一の実作。熱海市が昨年購入し、今年九月からの一般公開が予定されている。これまでも視察や見学会が行われているが、中学生の見学は初めてだという。

生徒たちはボランティアのタウト熱海会会員である中井正勝さんの解説を聞きながら見学した。地下室は、社交室（ピンポン室）と洋間、日本間の三部屋の居間で構成されている。中井さんは、竹の使用やブドウ色に染めた絹の壁紙、間接照明など、桂離宮に感銘を受けたタウトが日本建築の良さを生かした特徴を説明。波打つようにつるされた電球については「地下室から初島のいさり火を見てイメージしたのでは」などと話した。生徒たちは、熱心に中井さんの説明を聞きながら、隅々まで見て回った。

生徒たちはその後、起雲閣や来宮神社、熱海梅園などを見学。夜は市立少年自然の家に宿泊した。八日は箱根を見学し、再び自然の家に戻る予定だという。

2005-S17年6月8日　（見学6月7日）
熱海新聞

地　霊

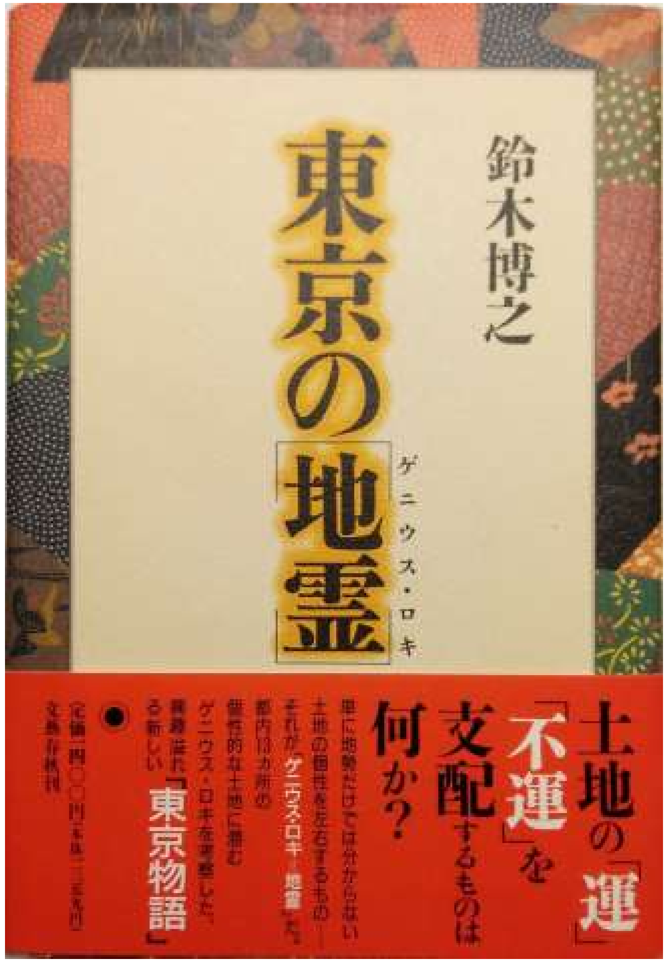
建築史家・**鈴木博之**先生

平成 20 年 3 月

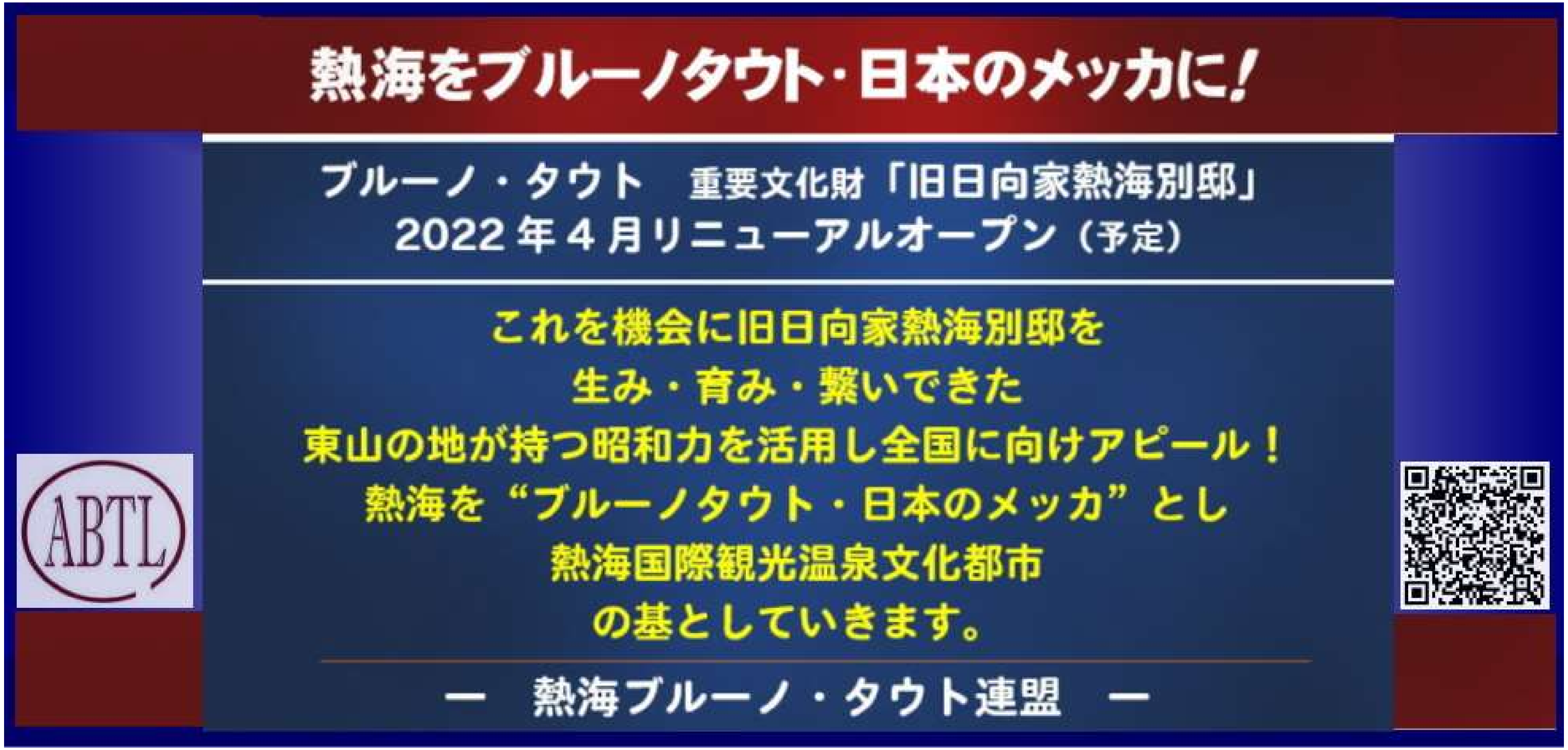
熱海市

旧日向別邸等研究委員会　　委員構成

座　長	鈴木　博之	（東京大学工学系研究科　教授）
副座長	藤森　照信	（東京大学生産技術研究所　教授）
	兼松　紘一郎	（株式会社兼松設計　代表取締役）
	建部　恭宣	（日本建築専門学校　教授）
	西澤　泰彦	（名古屋大学大学院環境学研究科　准教授）
	藤田　香織	（東京大学大学院工学系研究科　准教授）



熱海ブルーノ·タウト連盟の活動



オンライン講座

オンライン講座総合案内

今回　6月-04の講座視聴は　＜下部の ↩を＞　クリックしてください。

▶4月・5月講座 ↩	【東山文化】	▶6月・7月講座 ↩	【旧日向別邸】
00 プロローグ 01 ガイダンス	02　東山文化1 03　東山文化2	04　旧日向別邸1 05　旧日向別邸2	06　旧日向別邸3 07　旧日向別邸4
▶8月・9月講座	【ブルーノタウト】	▶10月・11月講座	【重要文化財】
08　B.タウト1 09　B.タウト2	10　B.タウト3 11　B.タウト4	12　重要文化財1 13　[illegible]	14　重要文化財3 15　重要文化財4
▶12月・1月講座	【熱海まちづくり】	▶2月・3月講座	【実働に向けて】
16　まちづくり1 17　まちづくり2	18　まちづくり3 19　まちづくり4	20 公開に向けて1 21 公開に向けて2	22　連盟の役割1 23　連盟の役割2

ユーチューブで公開中

次回　予告

国登録有形文化財

“東山荘”

日時：令和3年 7月26日（月）13：30~

会場：東山荘（国登録有形文化財）

募集：約20名（事前予約制）

予約受付中

日時　7月26日（月）

13:30~

場所　東山荘

ABTL　タウト塾@熱海 カリキュラム

令和３年度

オンライン講座				特別講座	イベント
月	項　目	細　目	配信		
4	講座概要	目的　方法 構成　連盟	第01		
5	東山文化	昭和初期の熱海 現在の東山文化	第02 第03	パネルトーク （東山関係者）	展示会 I ホテルミクラス展
6	旧日向家熱海別邸　I	誕生　経過　構成 謎めく空間	第04 第05	重要文化財 旧日向別邸 （ABTL）	
7	旧日向家熱海別邸　II	タウト・渡辺仁 係わりの人々	第06 第07	＊国登録有形文化財 東山荘	＊現場見学会
8	ブルーノ タウト　I	人物像 ドイツでのタウト	第08 第09	世界遺産とタウト （田中）	
9	[illegible]	[illegible]	第10 第11	高崎のタウト （廣瀬・前島・田中）	展示会 II ~~（予定）~~ 熱海＋高崎展
10	重要文化財　I	改正された文化財保法	第12 第13	保護法解説 （栗木）	
11	重要文化財　II	[illegible] 重要文化財	第14 第15	重文・日向邸 （栗木）	現場見学会
12	まちづくり　I	国際観光温泉文化 都市への取り組み	第16 第17	パネルトーク （市,教委,ABTL）	関連施設研修
1	まちづくり　II	東山地域との連携 発信と施策	第18 第19	パネルトーク （市,教委,東山関係者）	
2	公開に向けて	その具体的取組み まち歩き連携事例	第20 第21	パネルトーク （関係団体）	
3	連盟の役割	新たなる挑戦	第22 第23	熱海ブルーノ タウト連盟	

9月30日~10月4日高崎・熱海合同展

音楽サロンにて開催

アンケート
&
公開後での旧日向別邸の
有償ガイド募集中

アンケート用紙にチェックを!

■宜しければご記入ください。催しものなどのご連絡を致します。

氏名　　　　　　　　電話

Mail　　　　　　　　住所

来年度開業に伴い有償の**ガイドを含め応援者を募集**します。意欲のある方を歓迎します。ご興味のある方は**チェク(レ)**を入れてください。こちらからご連絡させて頂きます。

チェック　レ

事務局：413-0032 熱海市梅園町11-19-303　mail@atami-taut.com　080-3217-3297

ABTL 熱海ブルーノ・タウト連盟

2021/6/25

タウト塾@熱海　第二回特別講座

ビジュアルセミナー「重要文化財 旧日向別邸」

アンケート

本日はタウト塾@熱海　特別講座にご参加いただきありがとうございました。
アンケート宜しくお願い申し上げます。以降講座に参考にさせて頂きます。

良い→悪い / 項目	1 良い	2 ○	3 記入	4	5 悪い
テーマ性「重文・旧日向別邸」					
講座の内容・感想					
講座の形式（ビジュアルセミナー）					
講座の満足度					
見学会の評価					

■ご感想や興味あるテーマなど なんでもご記入ください。

■宜しければご記入ください。催しものなどのご連絡を致します。

氏名　　　　　　　　電話

Mail　　　　　　　　住所

来年度開業に伴い有償の**ガイドを含め応援者を募集**します。意欲のある方を歓迎します。ご興味のある方は**チェク(レ)**を入れてください。こちらからご連絡させて頂きます。

チェック

事務局：413-0032 熱海市梅園町11-19-303　mail@atami-taut.com　080-3217-3297

お疲れ様でした

熱海ブルーノ・タウト連盟